

なるほどあおば



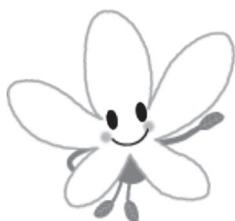
2015

データで見る青葉区



横浜市青葉区役所

●なしかちゃん●



青葉区のマスコット

平成21年4月12日、青葉区制15周年を記念して、青葉区のマスコットが誕生しました。

区内の子どもたちから寄せられたデザインから、区民投票をもとに選ばれました。(ナシの花のイメージ)

また、あわせて募集した愛称の中から、「なしかちゃん」と名付けられました。



青葉区

青葉区のシンボルマーク

AOBAの文字を木のイメージに重ねて「丘の横浜」をシンボライズし、自然の持つ優しい雰囲気表現しました。

●区の木ヤマザクラ●



青葉区の「区の木・区の花」

平成16年11月6日、青葉区制10周年を記念して、区民の皆さまの投票をもとに「区の木・区の花」を制定しました。

●区の花ナシ●



便利な電話の相談窓口

横浜市コールセンター

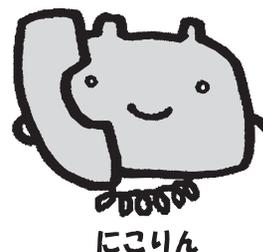
市役所や区役所のこと、どこに聞いたら良いかわからない時や、忙しくて自分で調べる時間がない時に、お気軽にお問合せください。

【電話】 **664-2525**

【FAX】 664-2828

【Eメール】 [callcenter@city.yokohama.jp](mailto:callcenter@city.yokohama.jp)

【受付時間】 朝8時から夜9時まで 年中無休



にこりん

御利用にあたって

●構成比、総数等の合計については、端数を四捨五入してあるため必ずしも内訳計と一致しない場合があります。

●統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「-」……皆無、「△」……マイナス (-)

**なるほどあおば  
2015**

～データで見る青葉区～

横浜市青葉区役所

## 目 次

■ 青葉区の主なデータ指標	2
1 位置・地勢・まち	4
2 人口・世帯	6
3 地域経済	17
4 暮らし・生活・環境	20
5 なるほど!あおばクオリティ	28
6 福祉	29
7 衛生	32
8 国民年金・国民健康保険	33
9 教育・生涯学習	34
10 市税	36
11 戸籍・住民登録	37
12 選挙	38
13 統計調査	39
14 防災	40
15 沿革	42

## 青葉区の主なデータ指標

青葉区の主な指標のデータについて、横浜市内の他区と比較したものです。

	項 目	青葉区	横浜市	18区中 順位	18区の ベスト3	データ 基準日
①	行政区の面積 (km <sup>2</sup> )	35.06	435.21	2	1. 戸塚区 2. 青葉区 3. 旭区	H26.1.15
②	人口 (人)	309,417	3,719,535	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H27.6.1
③	世帯数 (世帯)	125,539	1,645,739	3	1. 港北区 2. 鶴見区 3. 青葉区	H27.6.1
④	1世帯あたり人員 (人)	2.46	2.26	3	1. 都筑区 2. 泉区 3. 瀬谷区、青葉区	H27.6.1
⑤	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	8,825	8,547	7	1. 南区 2. 西区 3. 港北区	H27.6.1
⑥	平成26年度中の 市外からの転入者 (人)	13,777	130,105	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H26年
⑦	平成26年度中の 市外への転出者 (人)	14,429	129,947	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H26年
⑧	平成25年度中の 出生児数 (人)	2,606	30,181	3	1. 港北区 2. 鶴見区 3. 青葉区	H26.3.31
⑨	昼夜間人口比率 (%)	77.2	91.5	18	1. 西区 2. 中区 3. 神奈川区	H22 (国勢調査)
⑩	区民の通勤先(通学も含む)のうち 東京都の占める割合 (%)	42.0	24.8	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 鶴見区	H22 (国勢調査)
⑪	私立中学進学予定者の割合 (%)	25.8	15.2	1	1. 青葉区 2. 中区 3. 西区	H27.2.15
⑫	帰国児童数[公立小学生] (人)	112	374	1	1. 青葉区 2. 戸塚区 3. 都筑区	H26.5.1
⑬	平均年齢 (歳)	42.8	44.6	3 若い順	1. 都筑区 2. 港北区 3. 青葉区	H27.3.31
⑭	年少人口 (人) [15歳未満]	43,854	480,233	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H27.3.31
⑮	年少人口比率 (%) [15歳未満]	14.3	12.9	2	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 緑区	H27.3.31
⑯	生産年齢人口 (人) [15歳～64歳]	204,789	2,392,030	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H27.3.31
⑰	生産年齢人口比率 (%) [15歳～64歳]	66.6	63.3	6	1. 西区 2. 港北区 3. 都筑区	H27.3.31
⑱	老年人口 (人) [65歳以上]	58,695	850,165	4	1. 旭区 2. 戸塚区 3. 港北区	H27.3.31
⑲	老年人口比率=高齢比率 (%) [65歳以上]	19.1	23.3	16	1. 栄区 2. 旭区 3. 磯子区	H27.3.31
⑳	1人暮らし高齢者数 [65歳以上]	6,971	132,016	12	1. 南区 2. 鶴見区 3. 港北区	H22 (国勢調査)
㉑	団塊の世代人口 (人) [66歳～68歳(昭和22年～24年生まれ)]	12,017	159,028	3	1. 港北区 2. 戸塚区 3. 青葉区	H27.3.31
㉒	平均寿命 (男性)	81.9	80.3	2 全国8位	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 港南区	H22年
㉓	平均寿命 (女性)	88.0	86.8	1 全国20位	1. 青葉区 2. 緑区 3. 泉区	H22年
㉔	医療機関数 (病院・一般診療所)	287	3,090	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 中区	H25.10.1
㉕	有料老人ホーム (箇所数)	35	218	1	1. 青葉区、2. 都筑区、3. 戸塚区	H27.6.1
	(定員数)	2,447	14,226	1	1. 青葉区、2. 麻土ヶ谷区、3. 都筑区	

# 青葉区の主なデータ指標



項目	青葉区	横浜市	18区中 順位	18区の ベスト3	データ 基準日	
②⑥ 事業所数	6,995	114,454	7	1. 中区 2. 港北区 3. 鶴見区	H24.2.1	
②⑦ 商店数 (卸・小売)	1,708	27,356	7	1. 中区 2. 港北区 3. 西区	H24.2.1	
②⑧ 製造業事業所(工業のみ)数 (従業員4人以上の事業所)	50	2,580	15	1. 港北区 2. 都筑区 3. 鶴見区	H25.12.31	
②⑨ 納税者1人当り個人住民税額 [市民税・県民税] (円)	350,389	255,585	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 中区	平成26年度	
③⑩ 市税収入額(百万円)	37,264	707,362	7	1. 神奈川区 2. 西区 3. 中区	平成25年度	
③⑪ 人口1,000人あたりの 被生活保護人員割合 (%パーミル)	8.0	19.1	2 少ない順	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 港北区	平成27年4月	
③⑫ 1,000世帯あたりの 被生活保護世帯割合 (%パーミル)	14.0	32.3	1 少ない順	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 港北区	平成27年4月	
③⑬ 乗用車の保有台数について(事業所含む)	90,027	961,190	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H26.3.31	
③⑭ 自治会町内会加入率(%)	75.0	76.1	13	1. 栄区 2. 金沢区 3. 南区	平成26年度	
③⑮ ヨコハマ3R夢(スリム) 1人1日あたり燃やすごみの排出量(g)	405	414	6 少ない順	1. 港北区 2. 西区 3. 戸塚区、都筑区	H27.3.31	
③⑯ 【F30】 年間火災発生件数(速報値)	38	949	14 多い順	1. 鶴見区 2. 中区 3. 南区	H26.12.31	
③⑰ 土地利用 (市街化調整区域割合)(%)	27.5	24.0	8	1. 泉区 2. 緑区 3. 旭区	H27.2.5	
③⑱ 農業	農家戸数(戸)	511	4,202	2	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 泉区	H22.2.1
	耕地面積(a)	22,398	220,259	4	1. 泉区 2. 都筑区 3. 緑区	
③⑲ 区画整理等の市街地	(地区数)	39	175	1	1. 青葉区 2. 神奈川区 3. 緑区	平成27年4月
	(面積km <sup>2</sup> )	22.74	76.04	1	1. 青葉区 2. 緑区 3. 神奈川区	
④⑰ 建築協定数	52	182	1	1. 青葉区 2. 金沢区 3. 港南区	平成27年4月	
④⑱ 公園数	230	2,652	1	1. 青葉区 2. 戸塚区 3. 金沢区	H27.3.31	
④⑲ 道路	総延長(km)	737	7,803	1	1. 青葉区 2. 戸塚区 3. 旭区	H26.4.1
	総面積(km <sup>2</sup> )	5.8	57.6	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 金沢区	
④⑳ 道路率(%) (道路面積/行政区面積)	16.7	13.2	3	1. 西区 2. 都筑区 3. 青葉区	H26.4.1	
④㉑ 街路樹数(本) (歩道並木)	15,409	88,125	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 金沢区	H27.3.31	
④㉒ 緑被率(%)	31.4	29.8	9	1. 緑区 2. 栄区 3. 泉区	平成21年度	
④㉓ 海外で国政選挙ができる有権者数(人)	708	5,466	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H27.6.2	
④㉔ 国政選挙の投票率	衆議院選挙	57.81	54.12	2	1. 栄区 2. 青葉区 3. 金沢区	H26.12.14
	参議院選挙	57.83	55.54	3	1. 栄区 2. 金沢区 3. 青葉区	H25.7.21
④㉕ 地方選挙の投票率	統一地方選挙	39.97	42.00	14	1. 金沢区 2. 瀬谷区 3. 泉区	H27.4.12
	市長選挙	27.46	29.05	15	1. 栄区 2. 泉区 3. 金沢区	H25.8.25
④㉖ 犬の登録頭数(匹)	16,561	182,401	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 鶴見区	平成26年度末	

※本編のデータについては、年度ごとの比較等のため、異なるデータが掲載されていることがあります。

# 1 位置・地勢・まち

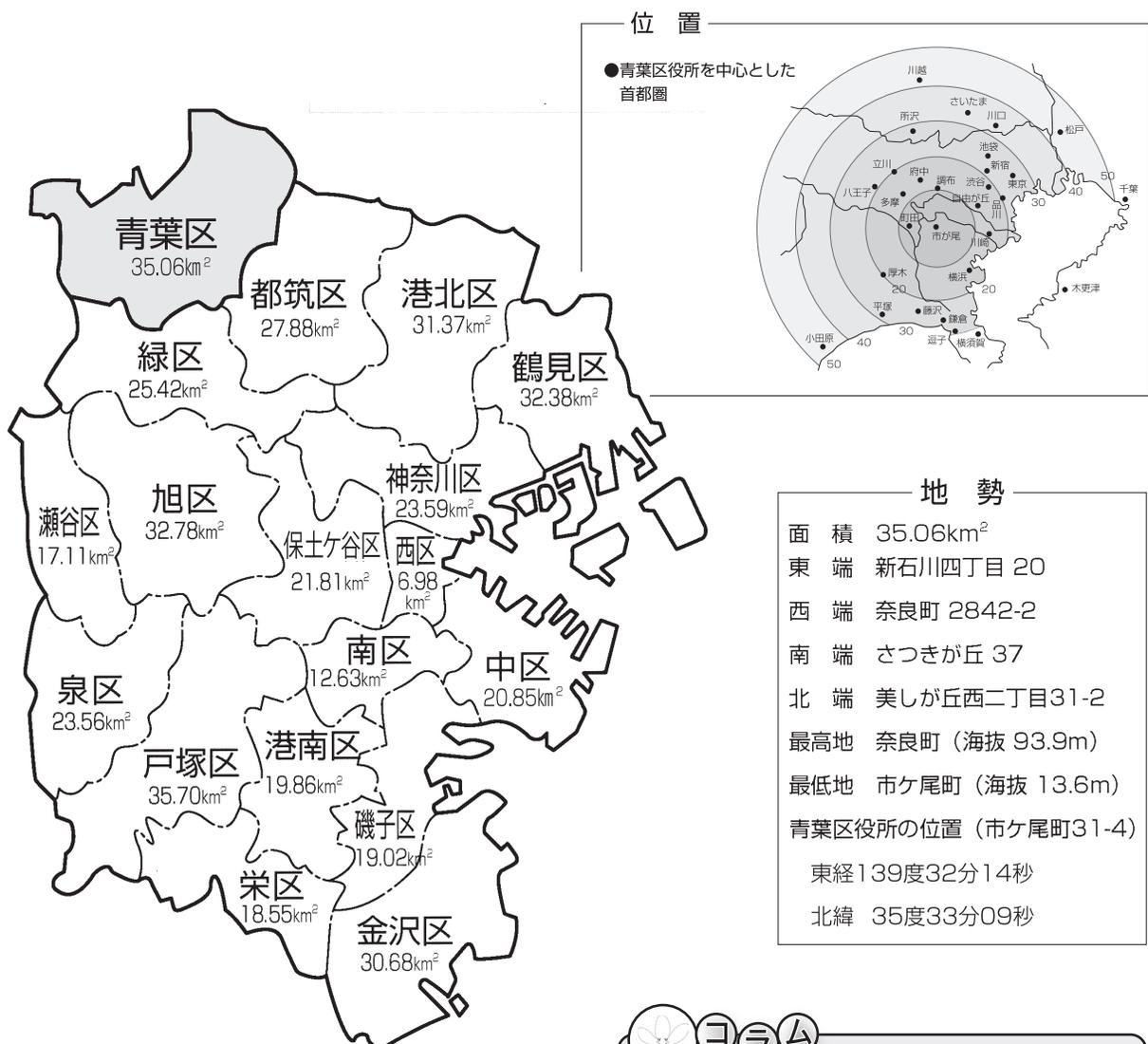
## (1) 位置・地勢

～青葉区は、市の北西部に位置し、面積は市内で2番目に大きい～

青葉区は、平成6年11月6日に、行政区再編成を経て、港北区や緑区の一部から誕生した区です。面積は、35.06km<sup>2</sup>で、市内では、戸塚区に次いで2番目の広さとなっています。

位置的には、横浜市の北西部にあり、東は都筑区、西は町田市、南は緑区、北は川崎市に接しています。

地形的には「丘の横浜」と呼ばれるとおり、丘陵が多く、また、区の中央部を鶴見川が流れており、これに沿って豊かな田園風景が広がる自然豊かな場所であるという特色があります。





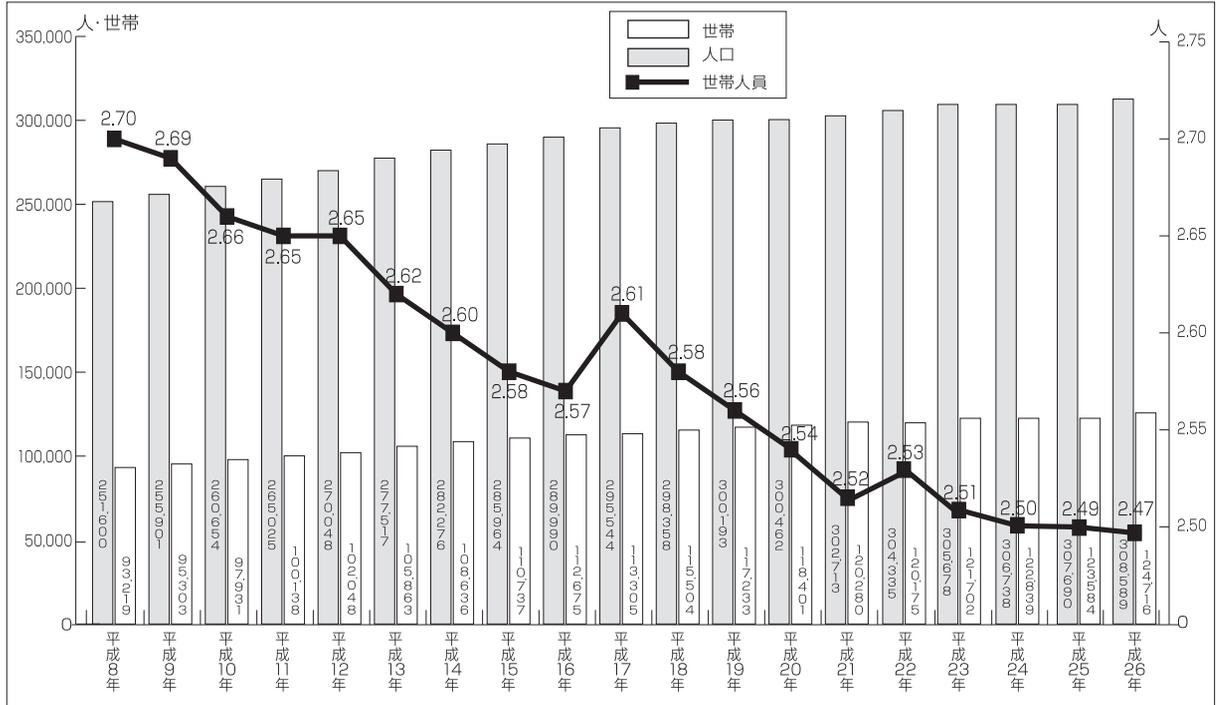
## 2 人口・世帯

### (1) 人口・世帯の増減

#### ～ 青葉区の世帯人員はわずかながら減少 ～

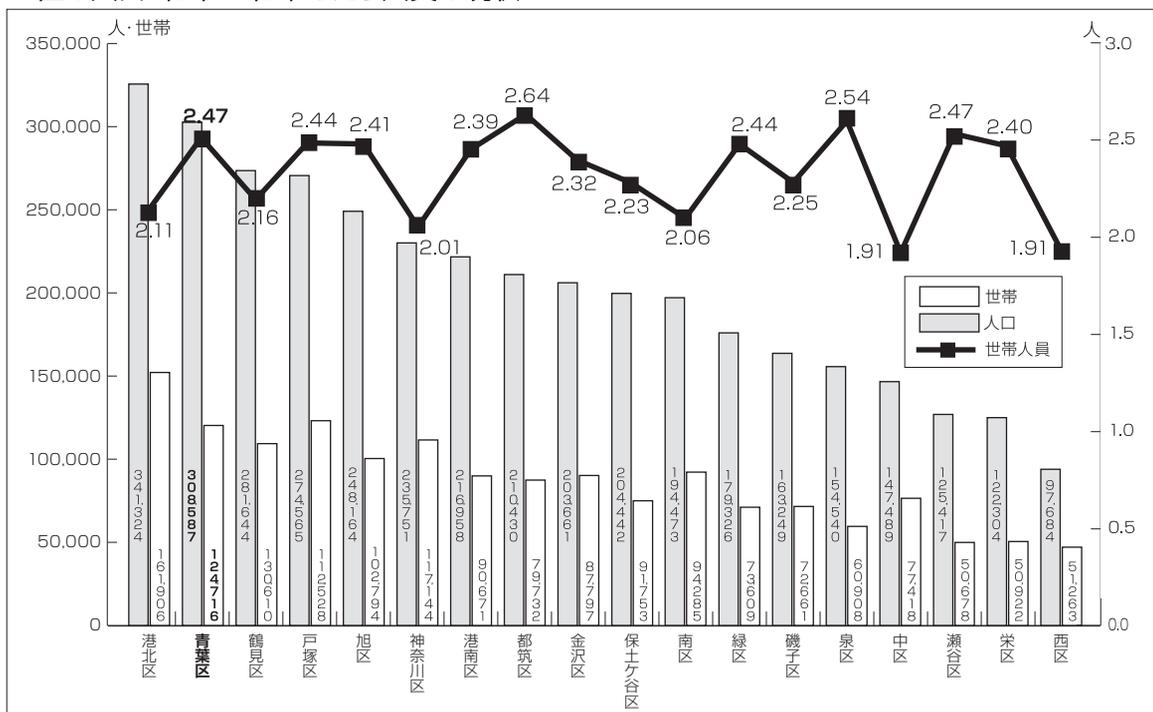
青葉区が誕生した平成6年12月時点の人口・世帯は、246,705人、92,402世帯でした。  
 平成19年5月には、人口30万人に達し、誕生以来、現在にいたるまで増加し続けています。  
 ただし、一世帯当たりの世帯人員は、平成23年からはわずかな減少が続いています。

#### ●青葉区の人口・世帯・1世帯あたりの人員の推移



※資料：人口ニュース（平成26年10月1日現在）

#### ●18区の人口・世帯・1世帯あたり人員の現状



※資料：人口ニュース（平成26年10月1日現在）

## 2 人口・世帯

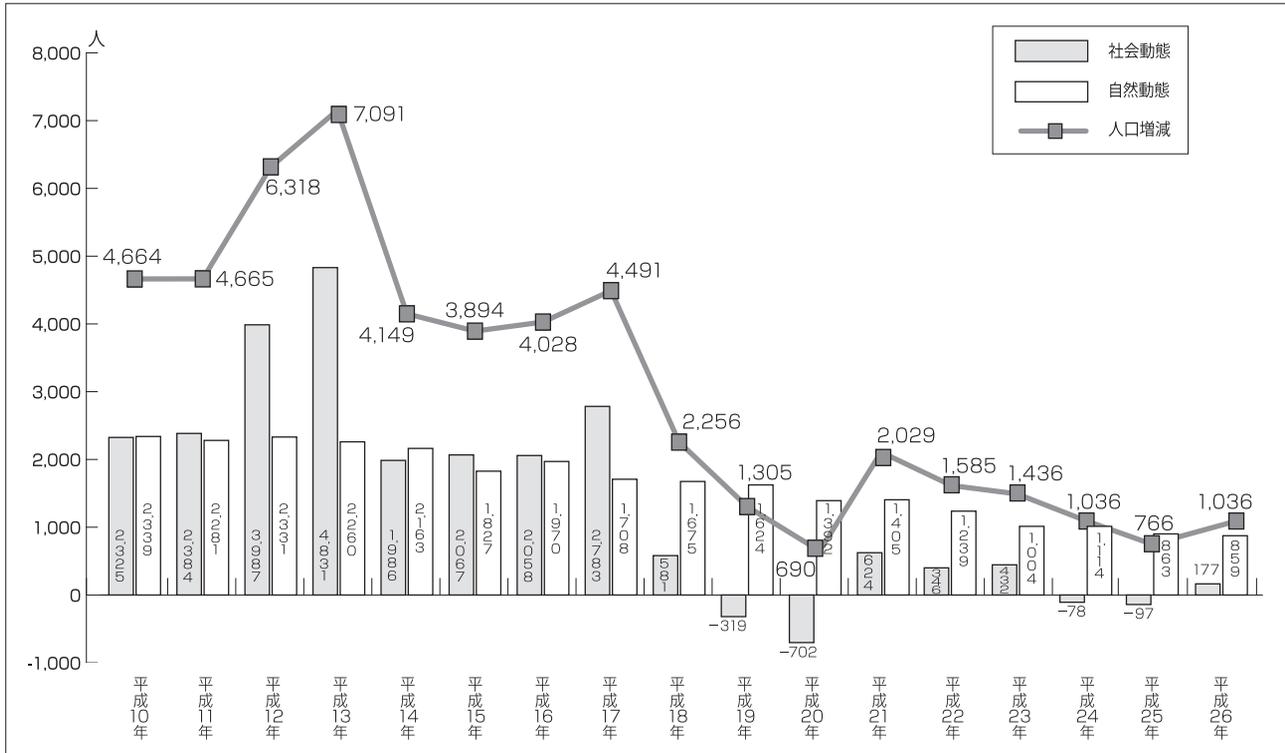


### (2) 社会動態・自然動態

～ 人口の伸びは、ここ最近では、平成13年がピーク～

青葉区内への転入・転出(社会動態)や、出生・死亡(自然動態)による人口の増減の移り変わりを見ていくと、増加の伸びは、平成13年がピークとなっておりますが、人口は緩やかに増加を続けています。

#### ●青葉区の社会動態・自然動態・人口増減の推移



※資料：横浜の人口～平成26年中の人口動態と平成27年1月1日現在の年齢別人口～

※以下の「横浜市統計ポータルサイト」で、人口や世帯数の最新のデータがご覧になれます。

#### ■ 推計人口

直近の国勢調査を基に、出生・死亡・転出入などを加減した人口です。

- 1 最新の人口ニュース(毎月更新)  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/iinko/news-i.html>
- 2 人口動態と年齢別人口(年1回更新)  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/iinko/dotai/new/index-i.html>
- 3 年齢(各歳・5歳階級)別男女別人口(年1回更新)  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/iinko/age/new/age-i.html>



#### 経済センサス基礎調査及び商業統計調査を実施

平成26年7月1日を基準日として、経済センサス及び商業統計調査が行われました。経済センサスは、我が国全ての事業所及び企業を対象として行われる国の最も基本的な統計調査の1つです。今後の産業振興や、商店街活性化のための施策のために活用されていきます。結果の速報値は平成27年6月頃、確報値は11月頃に出る予定です。御協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

## 2 人口・世帯

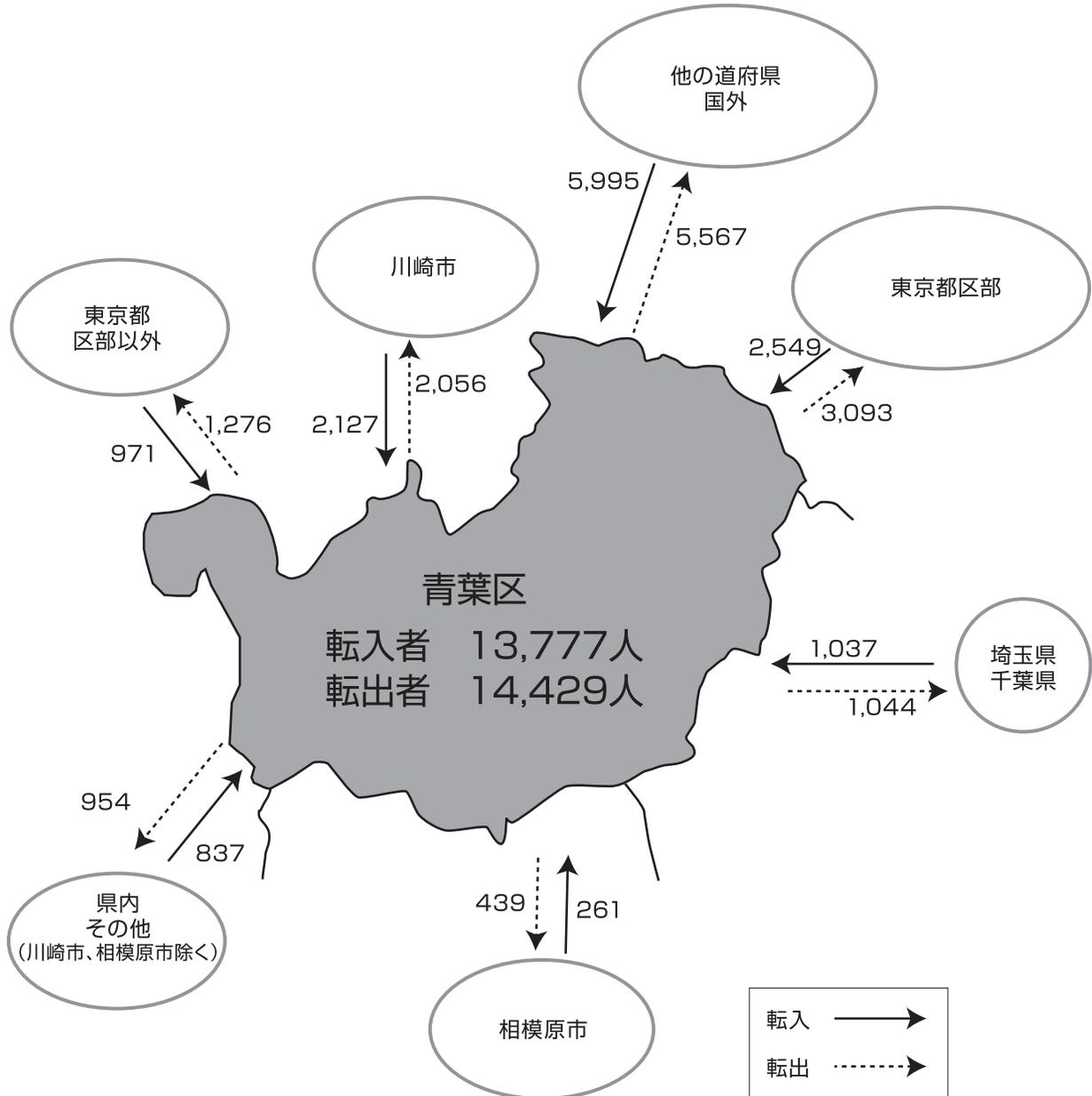
### (3) 転入、転出

～ 青葉区の転出入は、市外では東京・川崎、市内では都筑区・緑区が多い ～

市外では、東京や川崎、市内では、都筑区や緑区との間で転出入する人が多く、異動する人の年代は、転入、転出とも20歳代～30歳代の人が大半を占めています。

#### ●青葉区の市外転出入

(単位：人)

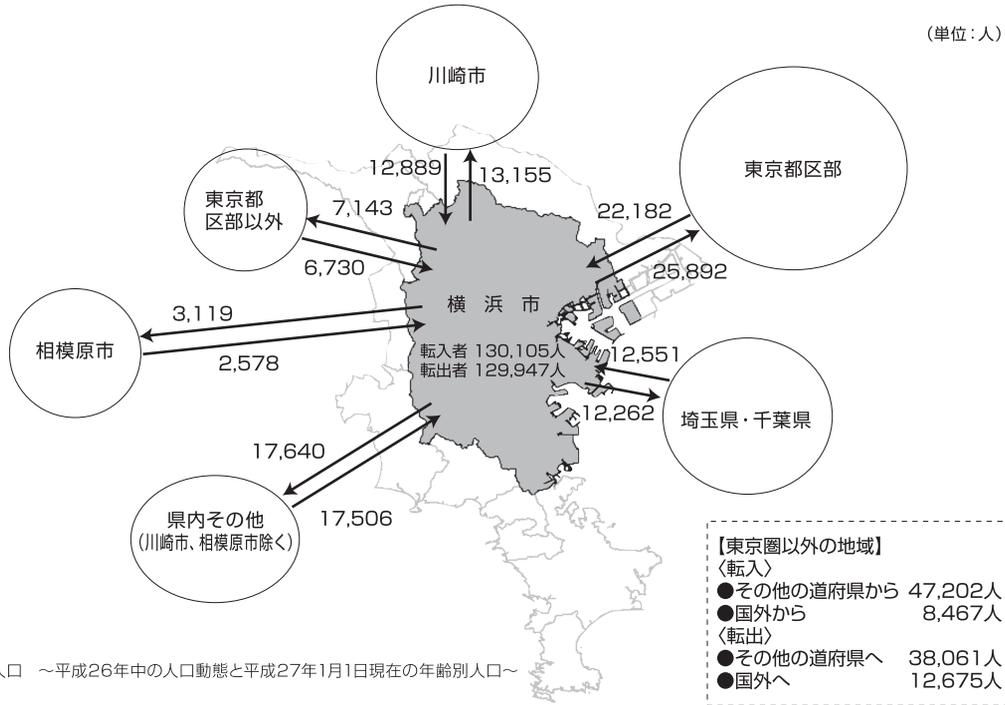


※資料：横浜の人口 ～平成26年中の人口動態と平成27年1月1日現在の年齢別人口～  
 (上記の転入・転出者数は、地域不詳を含みます。)

## 2 人口・世帯

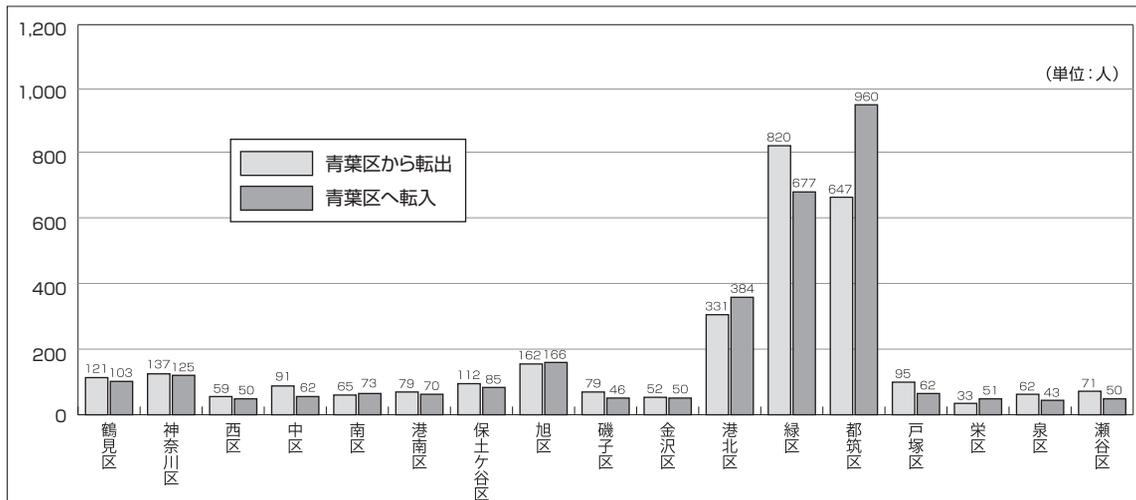


### ●横浜市の転出入



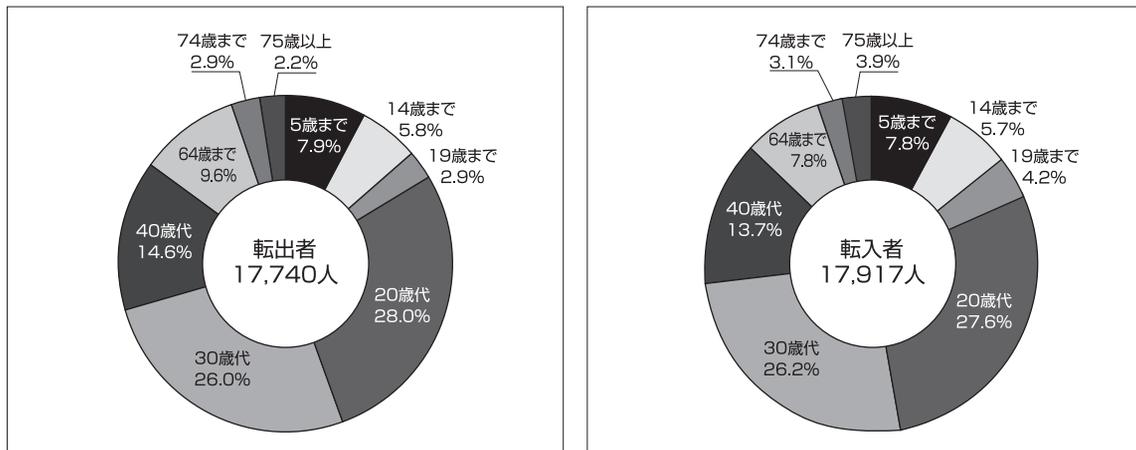
※資料：横浜の人口 ～平成26年中の人口動態と平成27年1月1日現在の年齢別人口～

### ●青葉区と他区との異動



※資料：横浜の人口 ～平成26年中の人口動態と平成27年1月1日現在の年齢別人口～

### ●青葉区の年齢別転出入 (市外・市内異動及びその他増減を含みます。)



※資料：横浜の人口 ～平成26年中の人口動態と平成27年1月1日現在の年齢別人口～

## 2 人口・世帯

### (4) 昼夜間人口

#### ～ 青葉区は、夜間人口の割合が高い～

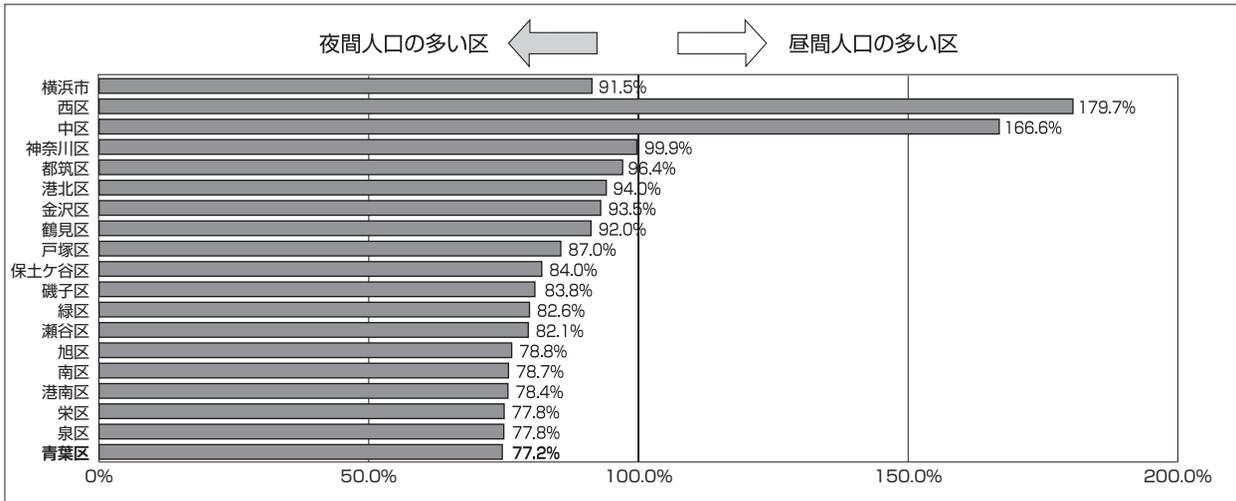
昼夜間人口比率とは、夜間（常住）人口100人あたりの昼間人口の割合です。

昼夜間人口比率が100を超える場合は、流出口よりも流入人口が多く、昼間その地域に人が集まることを示します。

逆に昼夜間人口比率が100に満たない場合は、通勤・通学のために人が出かけていくことを示します。

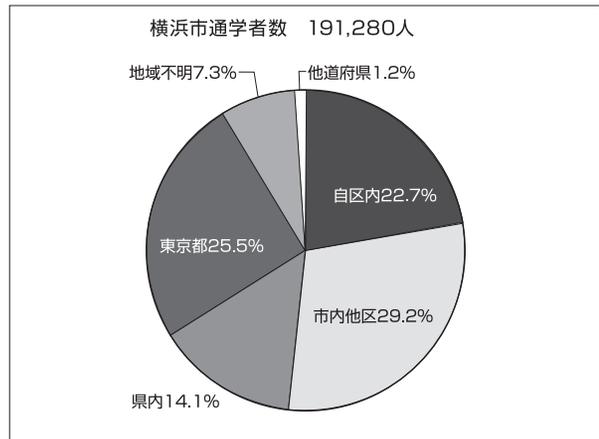
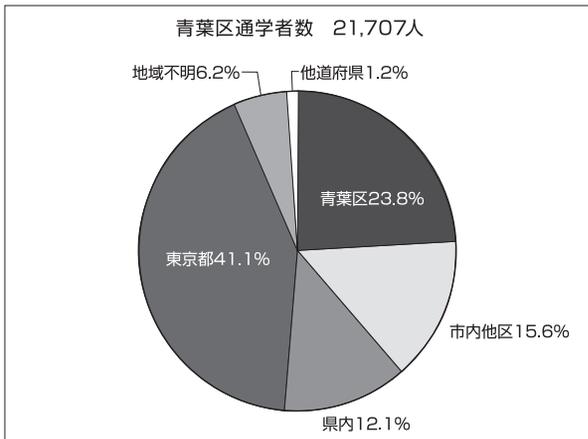
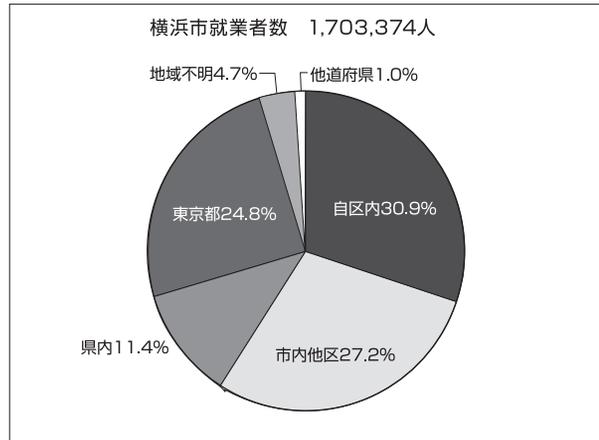
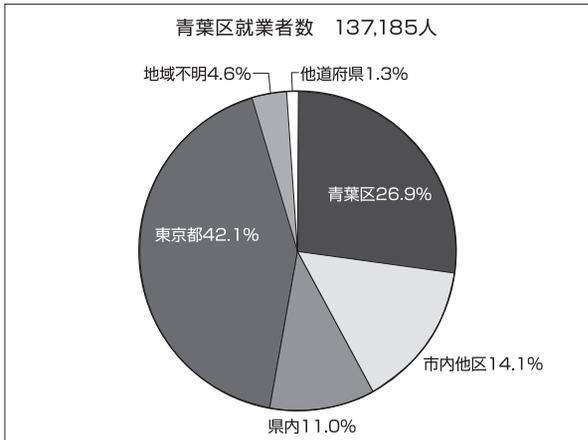
平成22年の国勢調査の結果では、青葉区の昼夜間人口比率は77.2%で、昼間は通勤・通学で出かけている人が多いことを示しています。

#### ●18区別の昼夜間人口比率



※資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

#### ●青葉区と横浜市の就業地・通学地の割合



※資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

## 2 人口・世帯



区の木 ヤマザクラ

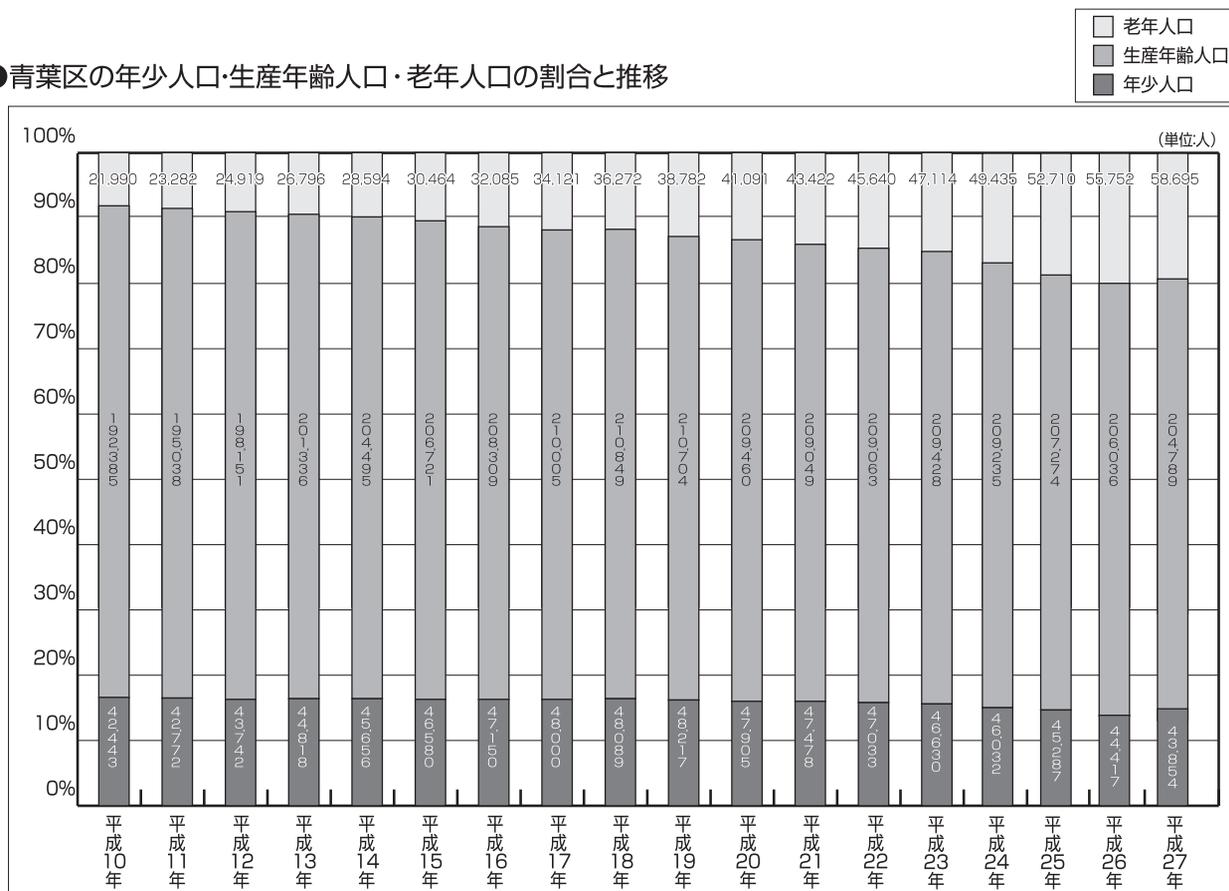
### (5) 年齢3区分別人口の推移

～ 青葉区の老年人口は、年々増加している～

年齢3区分別人口とは、「年少人口(0～14歳)」、「生産年齢人口(15～64歳)」、「老年人口(65歳以上)」に分けて示すことをいいます。なお、青葉区の年少人口は、市内で一番多くなっています。

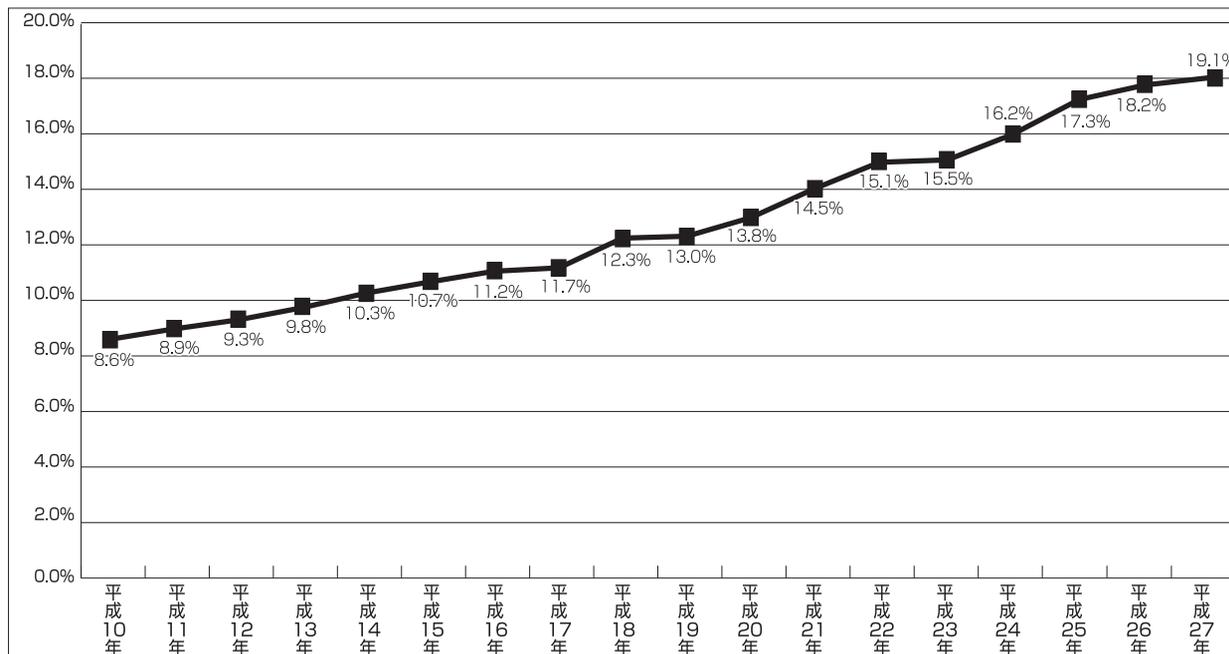
青葉区が誕生してからの高齢化率の推移を見てみると、年々上昇していることがわかります。

#### ●青葉区の年少人口・生産年齢人口・老年人口の割合と推移



※資料：横浜市町別・年齢人口(各年とも、3月31日現在)

#### ●青葉区の高齢化率の推移



※資料：横浜市町別・年齢人口(各年とも、3月31日現在)

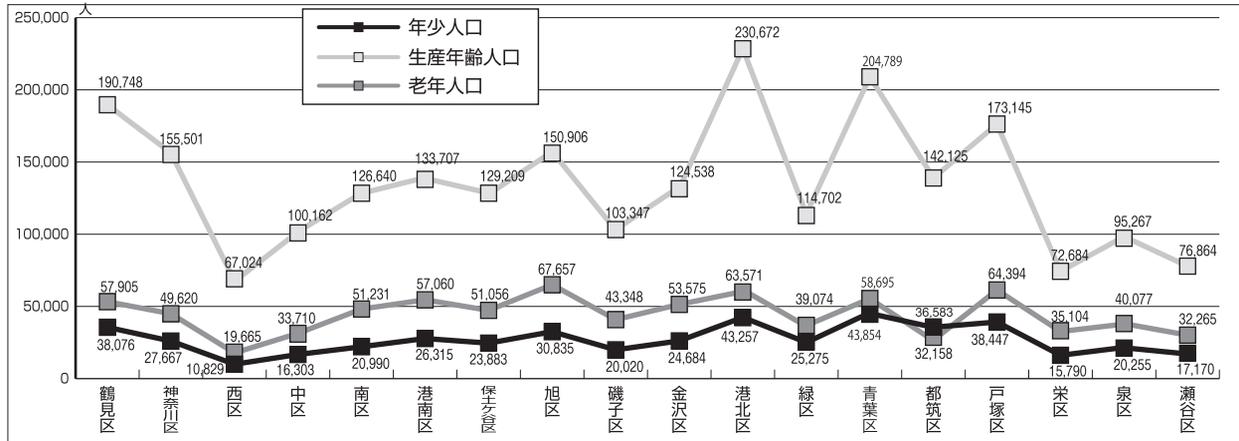
## 2 人口・世帯

### (6) 18区別の年齢3区分別人口

～ 青葉区の年少人口（15歳未満）は市内でトップ～

年少人口は、市内で1番多く、また、生産年齢人口も市内で2番目となっています。  
老年人口は、市内で4番目で、前年の5番より1つ順位が上がっています。

#### ●18区の年齢3区分別人口



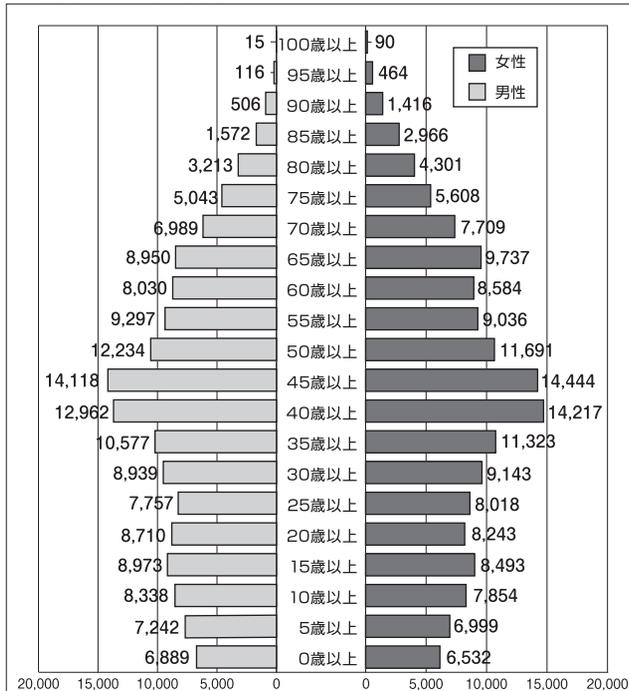
※資料：横浜市・各区分 年齢別男女別人口（平成27年3月31日現在）

### (7) 年齢別の人口ピラミッド

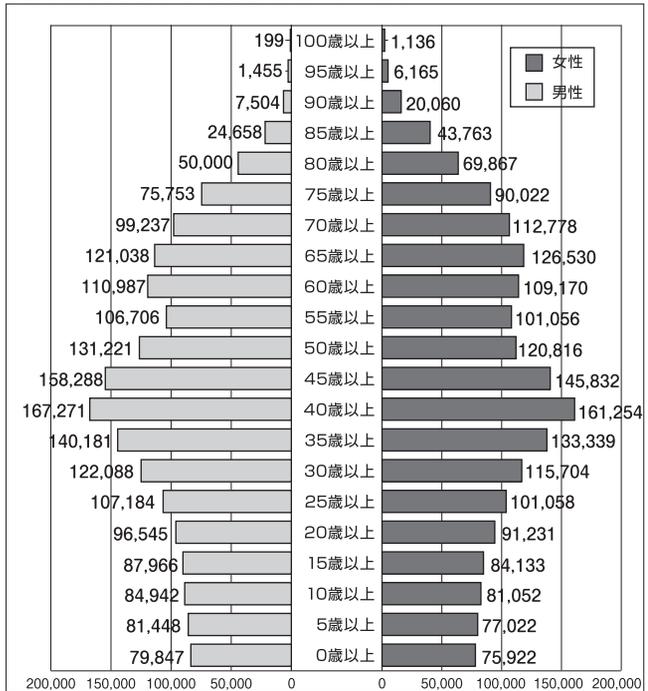
～ 青葉区の人口ピラミッドは団塊の世代に特徴がある～

青葉区の人口の構造の特徴は、第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）の団塊の世代の比重が横浜市内のものより少なく第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）の団塊ジュニアの年代の人口が中心となっています。

#### ●青葉区の年齢別人口ピラミッド



#### ●横浜市内の年齢別人口ピラミッド



※資料：横浜市・各区分 年齢別男女別人口（平成27年3月31日現在）

### (8) 平均寿命の推移

	男性		女性	
	平均寿命(歳)	全国での順位	平均寿命(歳)	全国での順位
平成22年	81.9	8位	88.0	20位
平成17年	81.7	1位	88.0	7位
平成12年	80.3	3位	85.8	—

※資料：国勢調査・厚生労働省生命表

## 2 人口・世帯



### 楽しみながら、健康寿命を延ばそう！

40歳以上の横浜市民の方に歩数計を持って楽しみながら健康づくりを進めていただく「よこはまウォーキングポイント事業」や、地域での健康づくり事業などに参加してスタンプを集めて景品に応募できる「よこはま健康スタンプラリー」など、横浜市では健康寿命に着目をし、健康寿命を延ばす様々な取り組みを進めています。健康寿命日本一を目指し、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

### (9) 平均年齢

#### ～ 青葉区の平均年齢は、42.8歳で、市内で3番目に若い～

青葉区の平均年齢は、以下のとおり、都筑区の40.0歳、港北区の42.6歳に次いで、3番目に若い区となっています。なお、横浜市の平均年齢は、44.6歳となっています。(単位：歳)

順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢
1位	都筑区	40.0	6位	西区	44.1	13位	磯子区	46.3
2位	港北区	42.6	8位	戸塚区	44.4	14位	港南区	46.4
<b>3位</b>	<b>青葉区</b>	<b>42.8</b>	9位	瀬谷区	45.3	15位	金沢区	46.5
4位	鶴見区	43.2	10位	泉区	45.7	16位	旭区	46.7
5位	緑区	43.7	10位	中区	45.7	17位	栄区	46.8
6位	神奈川区	44.1	12位	保土ヶ谷区	46.0	17位	南区	46.8

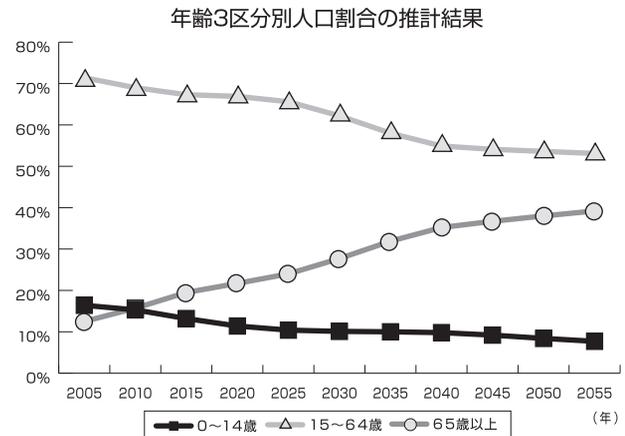
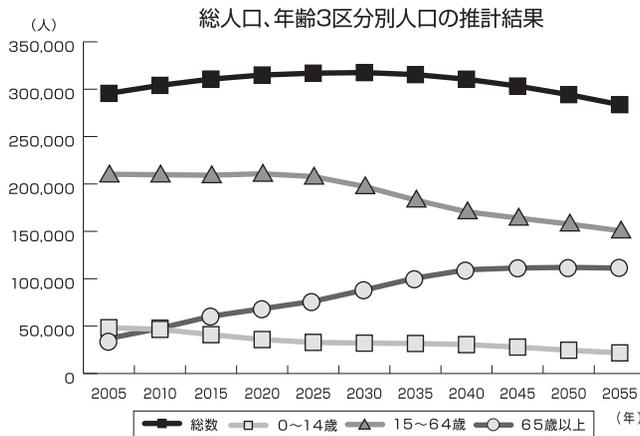
※資料：横浜市・各区分 年齢別男女別人口(平成27年3月31日現在)

### (10) 将来人口推計

#### ～ 2030年の青葉区の人口は、310,038人と推計される～

青葉区の人口は、今後10年程度は人口増加が続くと見込まれており、2030年の総人口は310,038人になると見込まれます。

年齢3区分別にみると、年少人口(15歳未満)は減少し続け、2030年の人口構成比は、10.8%になります。一方、老年人口(65歳以上)は、大幅に増加し、高齢化率は2030年で26.9%になると見込まれています。



総人口、年齢3区分別人口の推計結果

(単位：人)

	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	平成47年 2035年	平成52年 2040年	平成57年 2045年	平成62年 2050年	平成67年 2055年	平成72年 2060年
人口	総数	304,297	308,861	311,409	311,688	310,038	306,334	302,693	298,912	291,836	281,753
	0～14歳	46,551	42,399	38,448	35,592	33,410	32,752	32,533	31,705	30,112	28,112
	15～64歳	209,420	207,348	207,312	203,482	193,197	178,436	167,524	161,996	158,771	155,217
	65歳以上	48,326	59,114	65,649	72,614	83,431	95,146	102,636	105,211	102,953	98,424
構成比	総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	0～14歳	15.3%	13.7%	12.3%	11.4%	10.8%	10.7%	10.7%	10.6%	10.3%	10.0%
	15～64歳	68.8%	67.1%	66.6%	65.3%	62.3%	58.2%	55.3%	54.2%	54.4%	55.1%
	65歳以上	15.9%	19.2%	21.1%	23.3%	26.9%	31.1%	34.0%	35.2%	35.3%	34.9%

※資料：横浜市将来人口推計

#### 【参考】

この将来人口推計は、2010(平成22年)年国勢調査による人口及び世帯数を基準として、出生、死亡の将来値の推移を、高位、中位、低位の3つの仮定値を設定し組み合わせて推計しています。また、2036年以降のデータは、参考値です。

## 2 人口・世帯

### (11) 青葉区の町丁別のデータ

町名	人 口			平均年齢	設置年月日
	年少人口	生産人口	老年人口		
青葉区合計	43,854	204,789	58,695	42.8	平成 6年 11月 6日
桂台一丁目	329	1,568	379	41.4	昭和57年 1月 10日
桂台二丁目	706	2,939	789	41.8	昭和57年 1月 10日
元石川町	359	1,874	656	44.6	昭和14年 4月 1日
美しが丘一丁目	618	2,974	1,159	45.3	昭和44年 1月 15日
美しが丘二丁目	1,453	5,093	691	37.5	昭和44年 1月 15日
美しが丘三丁目	343	1,624	841	47.8	昭和44年 1月 15日
美しが丘四丁目	749	3,765	1,279	44.1	昭和47年 7月 26日
美しが丘五丁目	671	3,364	687	41.0	昭和47年 7月 26日
往田町	1,391	7,167	1,768	42.2	昭和14年 4月 1日
往田北一丁目	353	1,350	240	39.4	昭和53年 4月 29日
往田北二丁目	139	923	497	49.4	昭和53年 4月 29日
往田北三丁目	283	1,201	222	40.2	昭和53年 4月 29日
往田西一丁目	380	1,784	258	38.8	昭和58年 9月 11日
往田西二丁目	709	2,706	437	38.4	昭和58年 9月 11日
往田西三丁目	466	1,835	376	39.9	昭和58年 9月 11日
往田西四丁目	352	1,087	201	37.7	昭和58年 9月 25日
往田西五丁目	184	999	353	45.9	昭和58年 9月 25日
往子田一丁目	215	869	137	38.9	昭和59年 4月 29日
往子田二丁目	615	2,621	639	41.5	昭和59年 4月 29日
往子田三丁目	306	1,330	320	41.2	昭和59年 4月 29日
市ヶ尾町	2,193	12,369	3,791	44.1	昭和14年 4月 1日
下谷本	5	46	16	46.8	昭和14年 4月 1日
藤が丘一丁目	1,087	5,434	1,318	41.7	昭和41年 11月 6日
藤が丘二丁目	1,078	5,554	1,278	42.0	昭和41年 11月 6日
梅が草丘	734	3,620	1,136	43.9	昭和41年 11月 6日
千草じがら	861	4,330	1,229	43.0	昭和43年 8月 6日
つらと田	818	3,900	1,048	43.0	昭和39年 3月 31日
し恩	1,111	5,414	1,393	41.8	昭和42年 11月 16日
榎が丘	392	1,927	754	45.4	昭和14年 4月 1日
松風	834	3,938	989	41.8	昭和42年 5月 5日
桜	953	4,289	992	41.4	昭和42年 5月 5日
青葉台一丁目	889	4,829	1,506	44.5	昭和42年 5月 5日
青葉台二丁目	444	2,554	1,251	48.0	昭和42年 5月 5日
若草台	927	3,389	678	38.5	昭和42年 5月 5日
田奈良	429	2,173	852	45.5	昭和46年 1月 26日
奈良一丁目	644	3,435	790	41.6	昭和46年 3月 26日
奈良二丁目	963	5,053	2,873	49.6	昭和14年 4月 1日
奈良三丁目	127	486	127	40.2	平成 8年 9月 30日
奈良四丁目	340	1,230	273	39.3	平成 8年 9月 30日
奈良五丁目	531	2,274	285	37.7	平成 8年 9月 30日
緑山	445	2,172	397	40.7	平成 8年 9月 30日
上谷本	377	1,630	287	39.4	平成 8年 9月 30日
もえぎ野	0	0	0	0.0	昭和53年 2月 1日
柿の木の台	20	76	19	43.8	昭和14年 4月 1日
成合	479	2,468	893	44.4	昭和46年 1月 15日
たちばな台一丁目	613	3,450	1,205	45.1	昭和49年 9月 26日
たちばな台二丁目	651	3,256	1,040	43.8	昭和50年 9月 28日
鳴志田町	0	22	32	65.0	昭和14年 4月 1日
寺家町	443	2,083	590	43.0	昭和46年 1月 26日
鉄場町	381	1,937	720	44.6	昭和46年 1月 26日
さつきが丘	1,012	5,025	2,335	46.3	昭和14年 4月 1日
すすきの野	26	180	113	52.7	昭和14年 4月 1日
すすきの野一丁目	354	1,517	689	45.7	昭和14年 4月 1日
すすきの野二丁目	1,302	6,037	1,784	43.2	昭和14年 4月 1日
すすきの野三丁目	562	2,262	712	42.0	昭和45年 2月 26日
あざみ野	221	1,087	710	49.7	昭和48年 10月 26日
あざみ野一丁目	332	1,574	499	44.0	昭和48年 10月 26日
あざみ野二丁目	237	1,592	1,070	51.1	昭和48年 10月 26日
あざみ野三丁目	430	2,134	970	47.3	昭和48年 10月 26日
あざみ野四丁目	519	2,848	638	42.4	昭和51年 1月 15日
あざみ野五丁目	325	2,041	683	45.2	昭和51年 1月 15日
あざみ野六丁目	569	3,034	1,393	47.0	昭和51年 1月 15日
あざみ野七丁目	653	2,900	864	42.4	昭和51年 1月 15日
あざみ野八丁目	711	3,112	902	41.7	昭和51年 7月 16日
新石川一丁目	651	2,988	413	38.1	昭和54年 2月 18日
新石川二丁目	550	2,738	521	40.1	昭和54年 2月 18日
新石川三丁目	549	2,449	341	37.1	昭和54年 2月 18日
新石川四丁目	648	3,029	568	40.2	昭和54年 2月 18日
黒須田	713	2,069	293	36.2	平成 元年 7月 16日
あかね台一丁目	392	1,931	491	42.7	平成 2年 2月 18日
あかね台二丁目	400	1,634	296	39.7	平成 2年 2月 18日
美しが丘西一丁目	477	1,443	225	37.2	平成 元年 11月 5日
美しが丘西二丁目	834	2,937	695	40.5	平成 元年 11月 5日
美しが丘西三丁目	741	3,119	1,078	44.2	平成 元年 11月 5日
あざみ野南一丁目	350	1,195	109	35.6	平成 4年 9月 6日
あざみ野南二丁目	264	1,182	195	39.3	平成 4年 9月 6日
あざみ野南三丁目	170	682	178	42.1	平成 4年 9月 6日
あざみ野南四丁目	275	756	86	35.7	平成 4年 9月 6日
みすずが丘	197	883	153	39.8	平成 7年 3月 16日

## 2 人口・世帯



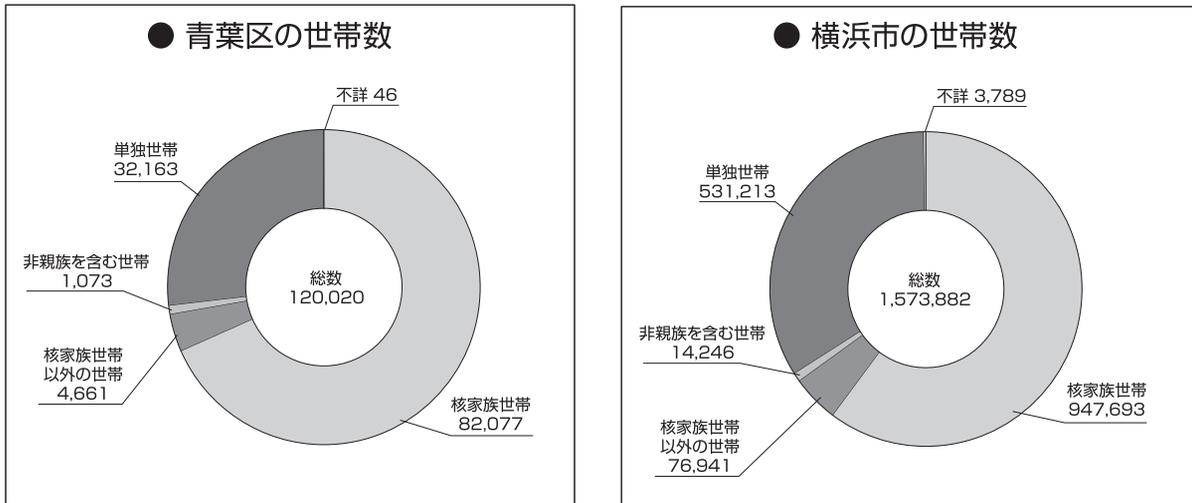
平成27年3月31日現在の登録者数

町名	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人口			1世帯あたり人口 (人/世帯)	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
			総数	男	女		
<b>青葉区合計</b>	<b>35.060</b>	<b>130,460</b>	<b>307,338</b>	<b>150,470</b>	<b>156,868</b>	2.36	8,766
桂台一丁目	0.217	938	2,276	1,093	1,183	2.43	10,488
桂台二丁目	0.398	1,755	4,434	2,232	2,202	2.53	11,141
元石川町	0.916	1,302	2,889	1,432	1,457	2.22	3,221
美しが丘一丁目	0.329	2,297	4,751	2,189	2,562	2.07	14,441
美しが丘二丁目	0.500	2,862	7,237	3,493	3,744	2.53	14,474
美しが丘三丁目	0.373	1,180	2,808	1,312	1,496	2.38	7,528
美しが丘四丁目	0.457	2,675	5,793	2,818	2,975	2.17	12,676
美しが丘五丁目	0.338	2,204	4,722	2,269	2,453	2.14	13,970
荏田町	1.122	4,586	10,326	5,065	5,261	2.25	9,203
荏田北一丁目	0.165	767	1,943	931	1,012	2.53	11,776
荏田北二丁目	0.178	749	1,559	786	773	2.08	8,758
荏田北三丁目	0.171	714	1,706	796	910	2.39	9,977
荏田西一丁目	0.245	1,144	2,422	1,314	1,108	2.12	9,886
荏田西二丁目	0.286	1,413	3,852	1,894	1,958	2.73	13,469
荏田西三丁目	0.213	975	2,677	1,281	1,396	2.75	12,568
荏田西四丁目	0.138	590	1,640	815	825	2.78	11,884
荏田西五丁目	0.158	569	1,536	739	797	2.70	9,722
荏子田一丁目	0.158	415	1,221	612	609	2.94	7,728
荏子田二丁目	0.347	1,365	3,875	1,901	1,974	2.84	11,167
荏子田三丁目	0.209	702	1,956	956	1,000	2.79	9,359
市ヶ尾町	2.007	8,515	18,353	8,832	9,521	2.16	9,144
下谷本	0.641	41	67	35	32	1.63	105
藤が丘一丁目	0.534	3,671	7,839	3,876	3,963	2.14	14,680
藤が丘二丁目	0.469	3,567	7,910	3,783	4,127	2.22	16,866
梅が草台	0.441	2,344	5,490	2,734	2,756	2.34	12,449
つじが丘	0.482	2,892	6,420	3,243	3,177	2.22	13,320
しんらとが丘	0.350	2,478	5,766	2,734	3,032	2.33	16,474
しんらとが丘	0.669	3,659	7,918	3,927	3,991	2.16	11,836
榎が丘	1.630	1,369	3,073	1,562	1,511	2.24	1,885
松が丘	0.465	2,510	5,761	2,778	2,983	2.30	12,389
桜が丘	0.482	2,428	6,234	3,135	3,099	2.57	12,934
青葉台一丁目	0.512	3,061	7,224	3,427	3,797	2.36	14,109
青葉台二丁目	0.316	2,149	4,249	1,992	2,257	1.98	13,446
若草台	0.318	2,183	4,994	2,403	2,591	2.29	15,704
田奈良町	0.285	1,376	3,454	1,664	1,790	2.51	12,119
田奈良一丁目	0.626	2,266	4,869	2,421	2,448	2.15	7,778
田奈良二丁目	2.187	4,196	8,889	4,339	4,550	2.12	4,064
田奈良三丁目	0.146	295	740	375	365	2.51	5,068
田奈良四丁目	0.183	667	1,843	936	907	2.76	10,071
田奈良五丁目	0.167	1,028	3,090	1,540	1,550	3.01	18,503
山緑	0.210	1,042	3,014	1,464	1,550	2.89	14,352
上谷本	0.169	830	2,294	1,141	1,153	2.76	13,574
もえぎ野	0.289	0	0	0	0	0.00	0
柿の木台	0.306	57	115	69	46	2.02	376
みたま台	0.403	1,672	3,840	1,891	1,949	2.30	9,529
成合町	0.456	2,362	5,268	2,628	2,640	2.23	11,553
たちばな台一丁目	0.425	2,085	4,947	2,413	2,534	2.37	11,640
たちばな台二丁目	0.012	39	54	33	21	1.38	4,500
鳴志田町	0.269	1,172	3,116	1,515	1,601	2.66	11,584
寺家町	0.267	1,356	3,038	1,586	1,452	2.24	11,378
鉄場町	1.612	3,546	8,372	4,217	4,155	2.36	5,194
さつきが丘	0.861	143	319	153	166	2.23	370
すき野一丁目	1.707	1,119	2,560	1,284	1,276	2.29	1,500
すき野二丁目	1.024	3,391	9,123	4,463	4,660	2.69	8,909
すき野三丁目	0.321	1,552	3,536	1,750	1,786	2.28	11,016
あざみ野一丁目	0.183	864	2,018	949	1,069	2.34	11,027
あざみ野二丁目	0.199	960	2,405	1,149	1,256	2.51	12,085
あざみ野三丁目	0.185	1,309	2,899	1,400	1,499	2.21	15,670
あざみ野四丁目	0.258	1,639	3,534	1,693	1,841	2.16	13,698
あざみ野五丁目	0.402	1,889	4,005	1,913	2,092	2.12	9,963
あざみ野六丁目	0.377	1,494	3,049	1,509	1,540	2.04	8,088
あざみ野七丁目	0.404	1,985	4,996	2,401	2,595	2.52	12,366
あざみ野八丁目	0.395	1,766	4,417	2,154	2,263	2.50	11,182
あざみ野九丁目	0.426	1,976	4,725	2,416	2,309	2.39	11,092
新石川一丁目	0.358	1,799	4,052	1,954	2,098	2.25	11,318
新石川二丁目	0.313	1,711	3,809	1,807	2,002	2.23	12,169
新石川三丁目	0.361	1,527	3,339	1,709	1,630	2.19	9,249
新石川四丁目	0.255	1,860	4,245	2,174	2,071	2.28	16,647
黒須田	0.308	1,043	3,075	1,542	1,533	2.95	9,984
あかね台一丁目	0.305	1,053	2,814	1,407	1,407	2.67	9,226
あかね台二丁目	0.241	824	2,330	1,144	1,186	2.83	9,668
美しが丘西一丁目	0.221	731	2,145	1,044	1,101	2.93	9,706
美しが丘西二丁目	0.488	1,534	4,466	2,179	2,287	2.91	9,152
美しが丘西三丁目	0.474	1,850	4,938	2,403	2,535	2.67	10,418
あざみ野南一丁目	0.160	609	1,654	809	845	2.72	10,338
あざみ野南二丁目	0.145	663	1,641	787	854	2.48	11,317
あざみ野南三丁目	0.171	356	1,030	510	520	2.89	6,023
あざみ野南四丁目	0.148	362	1,117	562	555	3.09	7,547
みすずが丘	0.122	393	1,233	584	649	3.14	10,107

## 2 人口・世帯

### (12) 世帯類型 (国勢調査から【平成22年10月1日現在】)

～青葉区の世帯数は、18区中3番目に多い～

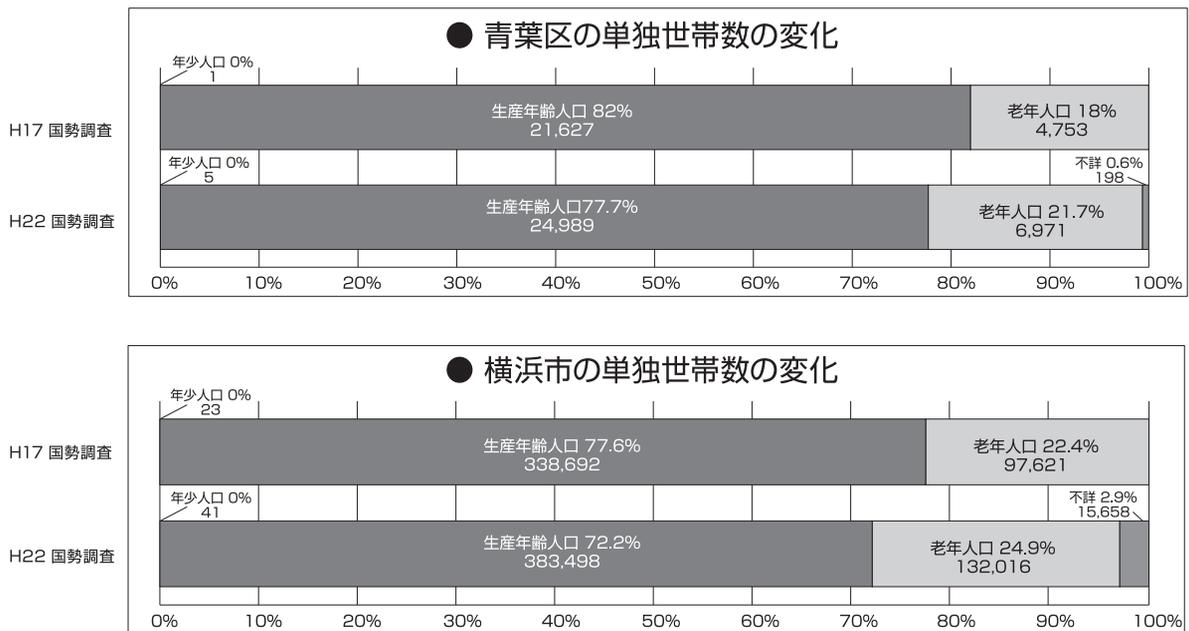


※資料：H22 国勢調査

※世帯数は、寄宿舎や寮、施設、病院、老人ホームなどに入院・入所している世帯を除いたものです。

～青葉区の単独世帯数のうち、65歳以上の高齢者単身世帯は、21.7%となっている～

横浜市と青葉区の単独世帯数の変化をみると、H17年国勢調査からH22年国勢調査までの間で、老年人口の割合は、確実に上昇していることがうかがえます。また、横浜市のH17年からH22年までの老年人口の増加率は、2.5%であるのに対し、青葉区は3.7%と、平均よりもやや高めとなっています。



#### 「青葉かがやく生き生きプラン」とは…

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、声かけや見守り、ちょっとしたお手伝いなどができる地域のつながりや支えあいの意識を強めていく必要があります。お互いの顔が見え、支えあい安心して暮らせるまちをつくるための計画が「青葉かがやく生き生きプラン」(青葉区地域福祉保健計画)です。現在、平成28年度を初年度とする第3期青葉区地域福祉保健計画(平成28～32年度の5か年計画)の策定に取り組んでいます。

### 3 地域経済



#### (1) 経済センサスから

～ 青葉区の教育・学習支援業や医療・福祉の事業所数は、市内でもトップクラス ～

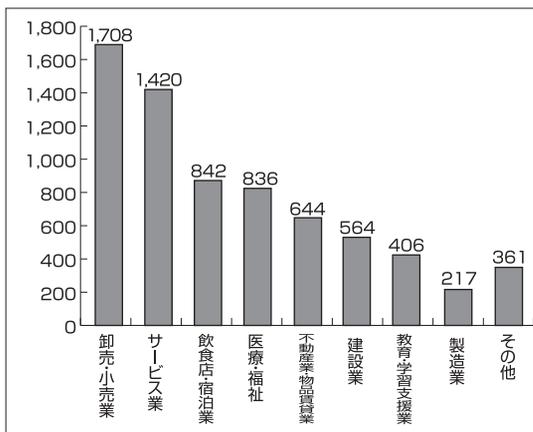
青葉区内の事業所数は、卸売・小売業が一番多くなっていますが、教育・学習支援業が市内で1位、医療・福祉の事業所が市内2位の多さとなっています。

#### ●青葉区の事業所数・従業者数

	事業所数	従業者数 (人)
平成21年	7,389	77,048
平成24年	6,995	71,814

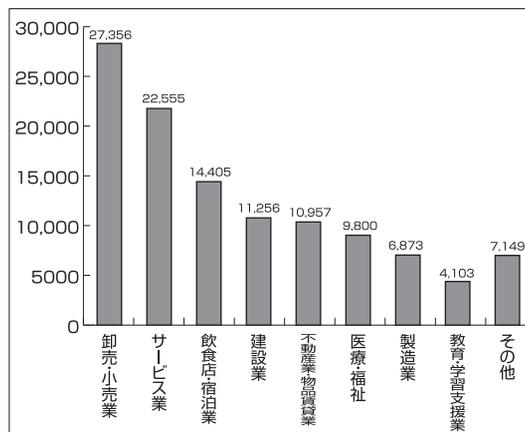
平成24年2月1日現在

#### ●青葉区の事業所数



平成24年2月1日現在

#### ●横浜市内の事業所数



平成24年2月1日現在

#### ●青葉区の町丁別事業所トップ20

順位	町丁名	事業所数	順位	町丁名	事業所数
1位	市ケ尾町	590	11位	美しが丘五丁目	176
2位	青葉台二丁目	442	12位	美しが丘四丁目	123
3位	美しが丘一丁目	419	12位	新石川一丁目	123
4位	青葉台一丁目	257	14位	桜台	122
5位	美しが丘二丁目	254	15位	鉄町	117
6位	荏田町	227	16位	榎が丘	112
7位	あざみ野二丁目	201	17位	大場町	111
8位	あざみ野一丁目	198	18位	柿の木台	109
9位	しらとり台	180	19位	恩田町	86
10位	鴨志田町	177	20位	新石川二丁目	82

平成24年2月1日現在

### 3 地域経済

#### (2) 工業統計調査から (平成25年12月31日現在)

～ 青葉区の工業事業所数は、市内で3番目に少ない～

青葉区の工業事業所は、他区と比べると工業の用途地域がないことから事業所数は少ない方です。平成25年は前年に比べ、事業所数、従業者数は減少しています。

#### ●青葉区の工業事業所数・従業者数等

青葉区

	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額 (百万円)	付加価値額 (百万円)
平成21年	59	1,511	22,972	8,902
平成22年	48	1,187	15,363	7,266
平成24年	53	1,434	19,847	9,698
平成25年	50	1,164	20,086	8,356

横浜市

	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額 (百万円)	付加価値額 (百万円)
平成21年	3,001	103,383	3,288,715	1,112,173
平成22年	2,800	100,203	4,070,210	1,208,675
平成24年	2,738	96,778	4,011,055	1,125,685
平成25年	2,580	93,095	4,104,709	988,913

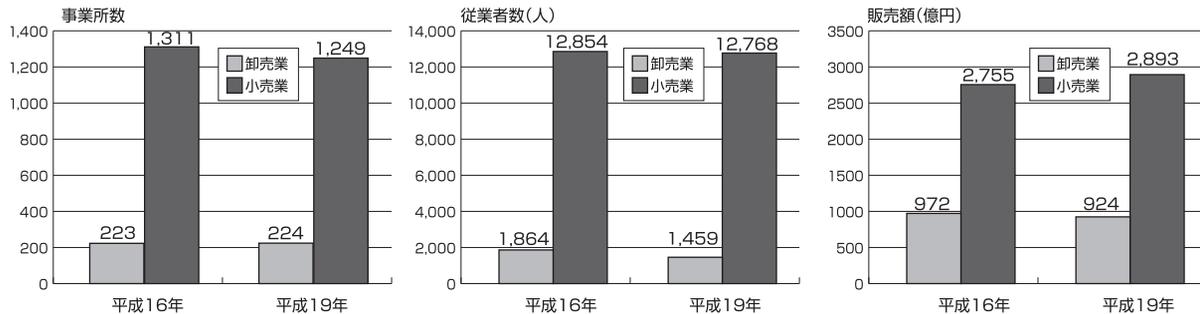
※平成23年は、工業統計調査は行われていません。

#### (3) 商業統計調査から (平成19年6月1日現在)

～ 青葉区の商業の事業所数、従業者数は減少。販売額はやや増加～

平成19年における青葉区の商業(卸売業、小売業)は、平成16年に比べ、事業所数、従業者数は減少傾向にありますが、年間商品販売額はやや増加しています。

#### ●青葉区の事業所数・従業者数・年間商品販売額



#### ●青葉区の町丁別商業の事業所数トップ20

順位	町丁名	卸売業	小売業	総数	順位	町丁名	卸売業	小売業	総数
1位	市ケ尾町	29	118	147	10位	美しが丘二丁目	4	31	35
2位	青葉台二丁目	4	130	134	12位	柿の木台	2	30	32
3位	美しが丘一丁目	4	94	98	12位	鴨志田町	5	27	32
4位	青葉台一丁目	6	72	78	14位	藤が丘二丁目	5	26	31
5位	荏田町	16	41	57	15位	美しが丘五丁目	4	25	29
6位	あざみ野一丁目	6	44	50	16位	新石川一丁目	7	19	26
7位	あざみ野二丁目	1	44	45	16位	奈良一丁目	1	25	26
8位	藤が丘一丁目	6	35	41	16位	奈良町	2	24	26
9位	しらとり台	8	31	39	19位	田奈町	3	22	25
10位	桜台	2	33	35	20位	美しが丘四丁目	-	24	24

### 3 地域経済



#### (4) 2010年農林業センサスから(平成22年2月1日)

～ 青葉区の農家数は、市内で2番目に多い～

##### ●農家数・従業者数・経営耕地面積

	農家数(戸)					農業従事者数 (販売農家) (人)	経営耕地面積 (a)	農家一戸あたりの 経営耕地面積 (a / 戸)
		販売農家		自給的農家				
		専業	兼業					
青葉区	511	245	86	159	266	694	22,398	43.8
横浜市	4,202	2,430	1,013	1,417	1,772	7,080	220,259	52.4

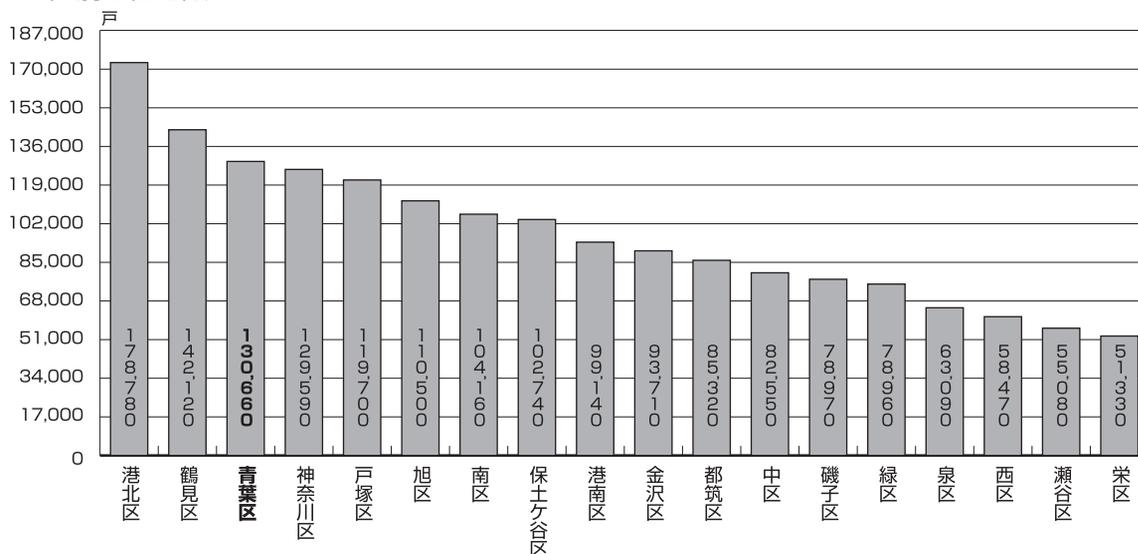
※資料:「2010年 農林業センサス農林業経営体調査結果報告」

注) 平成22年2月1日現在の経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯を農家としています。

#### (5) 住宅・土地統計調査から(平成25年10月1日)

～ 青葉区の住宅数は、市内で3番目に多い～

##### ●18区別の住宅数



#### 住宅の耐震化支援制度

昭和56年5月末日以前に建築確認を得て着工した、木造個人住宅・分譲マンションが対象です。

##### 【木造個人住宅】

- 耐震診断 耐震診断を無料で行います。
- 耐震改修 耐震改修が必要と診断された住宅の改修費用の一部を補助します。  
補助限度額：75万円(世帯員全員が過去2年間非課税の場合は115万円)

##### 【分譲マンション】

- 予備診断 簡易な耐震診断を無料で行います。
- 本診断(精密診断)  
予備診断の結果、「本診断(精密な診断)が必要」と診断された場合、本診断の費用の一部を補助します。  
補助率：本診断にかかった費用の2/3
- 耐震改修 耐震改修が必要と診断された場合、改修費用の一部を補助します。  
補助率：耐震設計費の2/3  
耐震改修工事に係る工事監理費の2/3  
耐震補強工事費の1/3(上限あり)、市が指定した路線沿線マンションは2/3

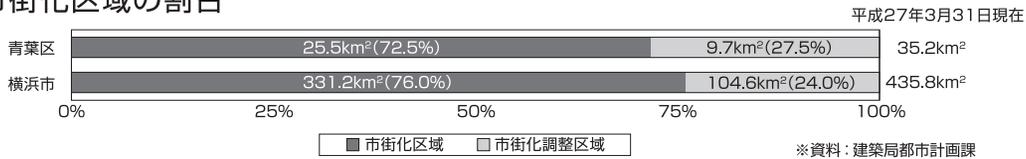
※平成27年度の内容を掲載しています。制度の内容は、今後変更される場合があります。

(問合せ:横浜市建築局建築防災課 電話671-2943 FAX641-2756)

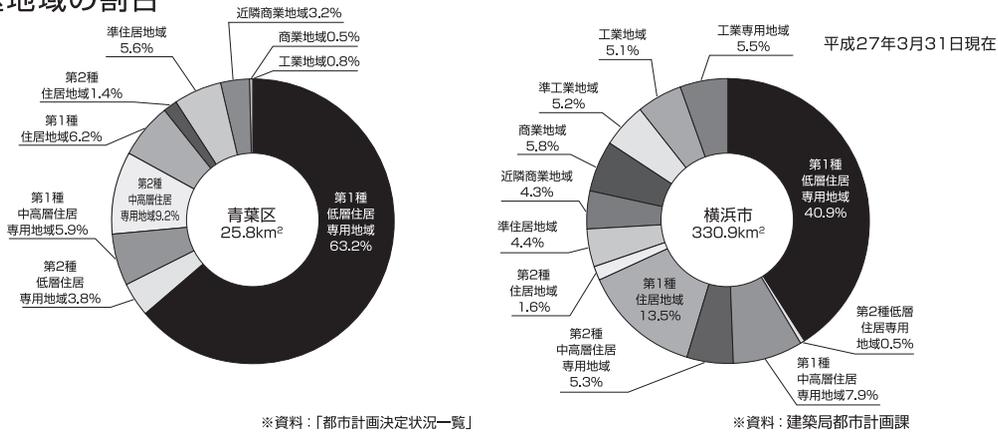
# 4暮らし・生活・環境

## (1) 土地利用 ～ 青葉区は住居系の用途地域の割合が高い ～

### ア 市街化区域の割合



### イ 用途地域の割合



第1種低層住居専用地域	建ぺい率 30～60%、容積率 60～100%	準住居地域	建ぺい率 60%、容積率 200%
第2種低層住居専用地域	： // 40～60%、 // 80～150%	近隣商業地域	： // 80%、 // 200～400%
第1種中高層住居専用地域	： // 60%、容積率 150%	商業地域	： // 80%、 // 400～800%
第2種中高層住居専用地域	： // 60%、 // 150%	準工業地域	： // 60%、 // 200～400%
第1種住居地域	： // 60%、 // 200%	工業地域	： // 60%、 // 200%
第2種住居地域	： // 60%、 // 200%	工業専用地域	： // 40%～60%、容積率 200%

## (2) 公園等

### ～ 青葉区は公園の面積割合で街区公園の割合が半数近くを占める ～

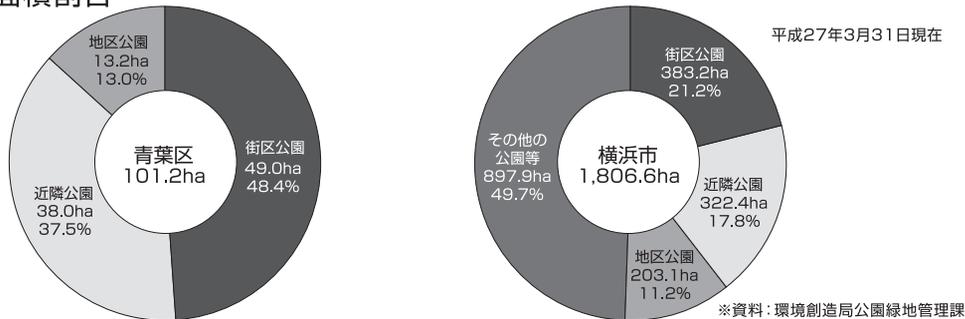
### ア 公開公園数・面積

	地区公園		近隣公園		街区公園		その他公園等		合計		1公園あたりの面積 (ha)
	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	
青葉区	4	13.2	26	38.0	197	49.0	3	1.0	230	101.2	0.44
横浜市	45	203.1	194	322.4	2,287	383.2	126	897.9	2,652	1,806.6	0.68

※資料：環境創造局公園緑地管理課

- 注1) 県立公園を含みます。  
 注2) 地区公園：主に徒歩圏内の方の利用を目的とした公園で、誘致距離は1kmの範囲です。面積は4haを基準としています。  
 近隣公園：主に近隣に居住する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は500mの範囲です。面積は2haを基準としています。  
 街区公園：主に街区内に居住する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は250mの範囲です。面積は0.25haを基準としています。  
 その他の公園等：緑地・緑道、運動公園などをいいます。

### イ 公園の面積割合



### 青葉区制20周年記念 区民協働整備施設「青葉スポーツプラザ」がオープン!

「青葉スポーツプラザ」は、区民の皆さんのスポーツ活動の場を確保するため、青葉区制20周年記念事業として学校予定地(荻田西 2-16-1)を活用し、区民・各種団体・企業等の皆さんからの寄附金や区補助金により整備されました。地域の皆さんと区役所が力を合わせて整備した、区制20周年を記念するにふさわしい施設です。多くの区民の皆さんのご利用をお待ちしています!

# 4 暮らし・生活・環境



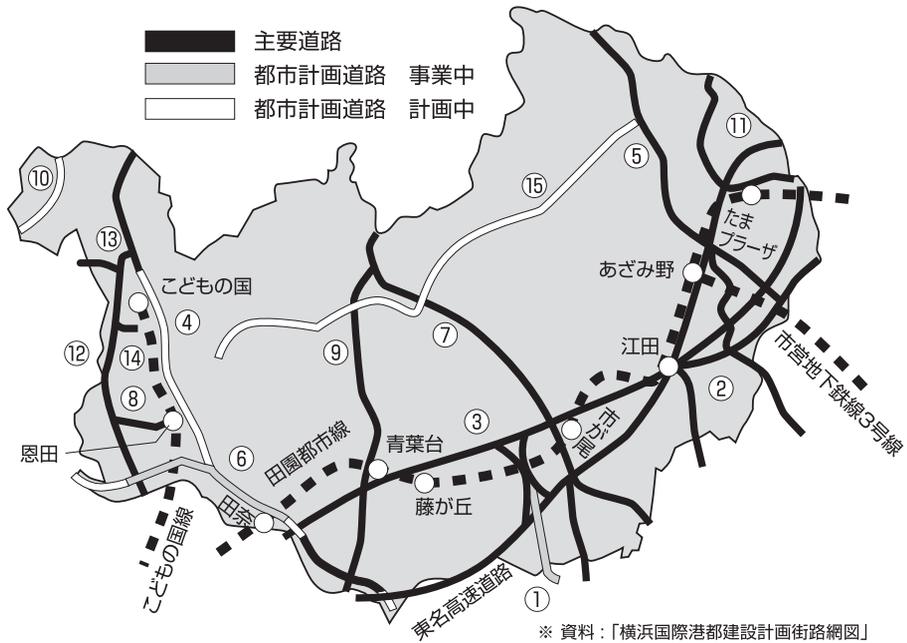
## (3) 道路・交通

～ 青葉区は市内18区中で道路延長が一番長い～

平成24年4月現在

### ア 道路

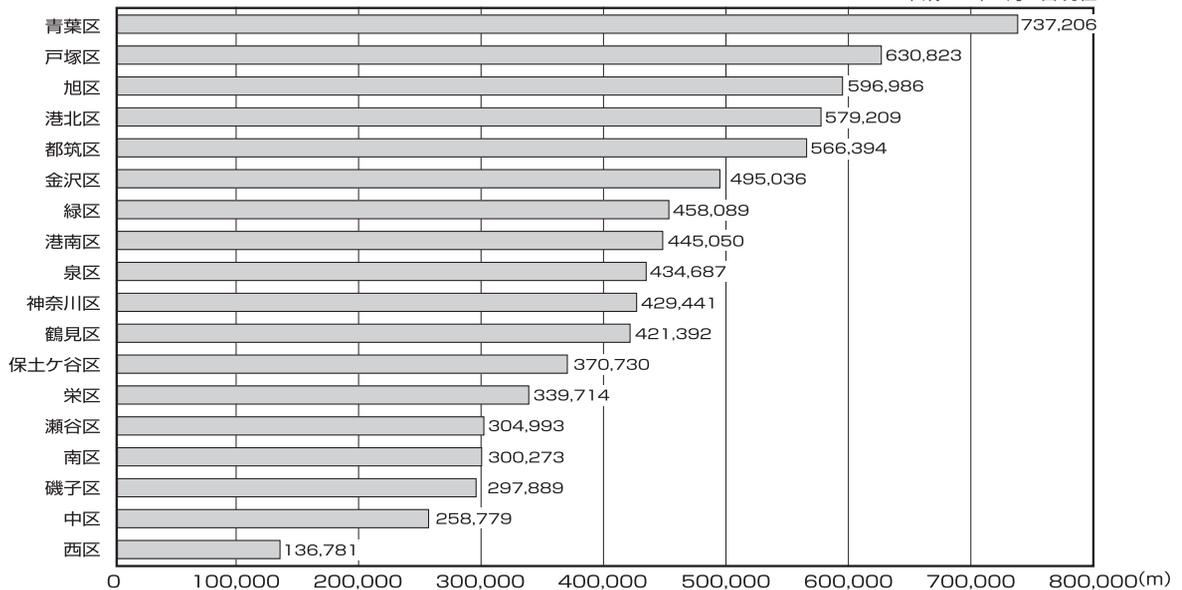
- ① 高速横浜環状北西線
- ② 新横浜元石川線
- ③ 国道246号
- ④ 真光寺長津田線
- ⑤ 日吉元石川線
- ⑥ 川崎町田線
- ⑦ 横浜上麻生線
- ⑧ 恩田線
- ⑨ 環状4号線
- ⑩ 柿生町田線
- ⑪ 元石川線
- ⑫ 長津田奈良線
- ⑬ 奈良2号線
- ⑭ 奈良3号線
- ⑮ 恩田元石川線



※ 資料：「横浜国際港都建設計画街路網図」

### イ 道路延長

平成26年4月1日現在



※ 資料：「横浜市道路現況」

### ウ 街路樹の状況

平成27年3月31日現在

	イチョウ	サクラ類	トウカエデ	ユリノキ	ハナミズキ	ケヤキ	プラタナス	ハナノキ	アキニレ	ヤマボウシ	その他
青葉区	3,218	1,711	1,628	1,489	1,728	1,394	144	846	663	597	1,991
横浜市	16,252	7,959	5,090	9,131	5,605	6,308	2,880	3,251	2,920	2,003	26,726

注)単位：本

※ 資料：道路局施設課



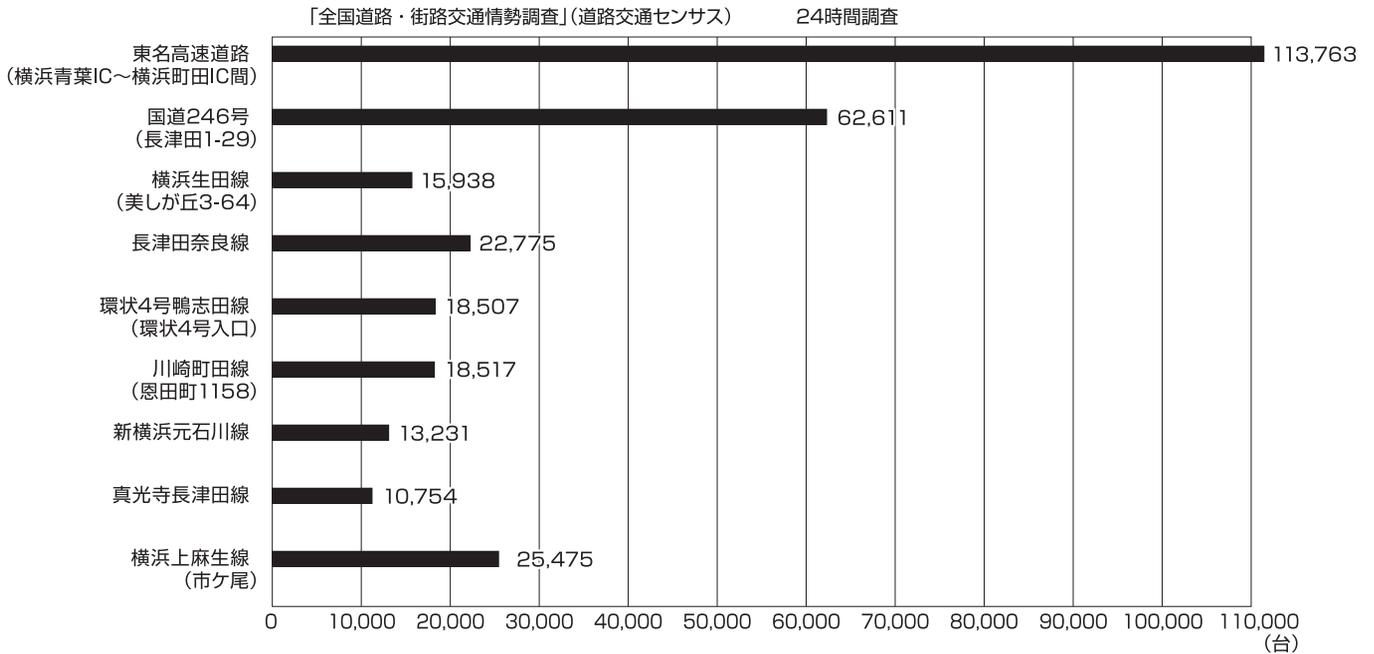
高速横浜環状北西線の整備を進めています

高速横浜環状北西線は、青葉区の東名高速道路（横浜青葉インターチェンジ・ジャンクション）から、都筑区の第三京浜道路（港北ジャンクション）を結ぶ、延長約7.1kmの自動車専用道路です。完成予定を平成33年度としておりますが、1日も早い完成を目指して、事業を進めています。  
〔横浜市道路局HP〕

## 4 暮らし・生活・環境

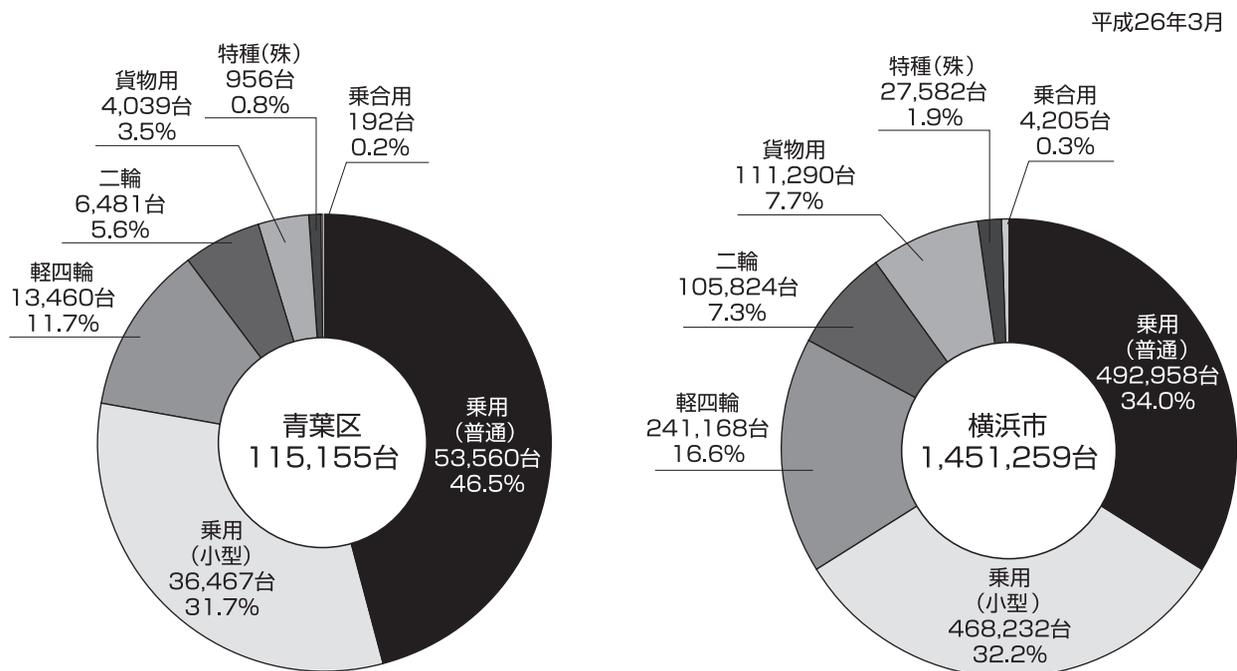
### (4) 交通

～ 青葉区内の交通量は東名高速道路が突出して多い～



### (5) 自動車登録台数

～ 青葉区は乗用の割合が約8割を占め、普通乗用が小型乗用より10ポイント以上多い～  
(3ナンバー) (5ナンバー)



(6) 交通事故

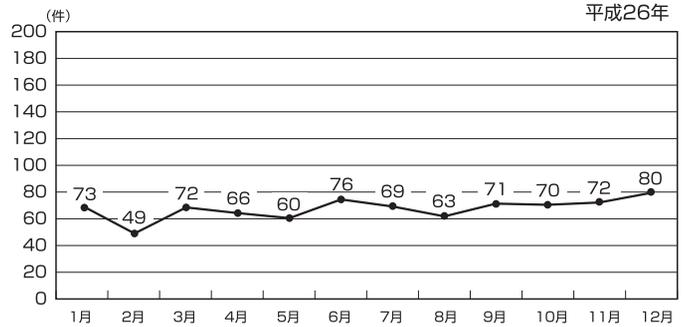
～ 平成26年青葉区の交通事故件数は減少した ～

●交通事故件数・負傷者数・死亡者数

	件数 (件)	負傷者数(人)			死亡者数 (人)	1日平均 件数(件)	
		重傷	軽傷	計			
青葉区	平成21年	1,167	23	1,318	1,341	5	3.2
	平成22年	1,194	47	1,358	1,405	1	3.3
	平成23年	955	32	1,107	1,139	4	2.6
	平成24年	880	45	946	991	11	2.4
	平成25年	833	17	969	986	4	2.3
	平成26年	821	24	949	973	3	2.25
横浜市	平成24年	13,158	529	14,899	15,428	66	36.0
	平成25年	12,248	447	13,930	14,377	61	33.5
	平成26年	10,989	418	12,397	12,815	66	30.0

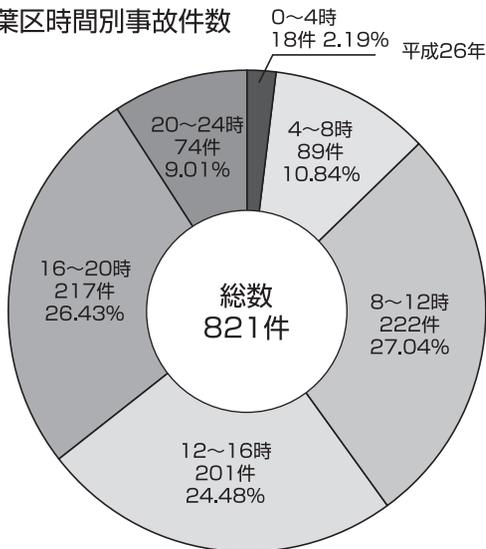
※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区月別事故件数



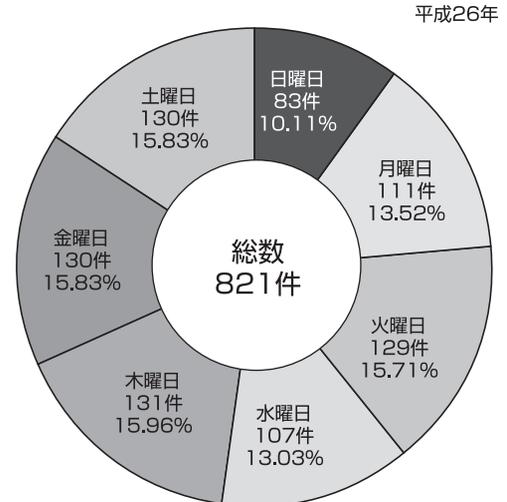
※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区時間別事故件数



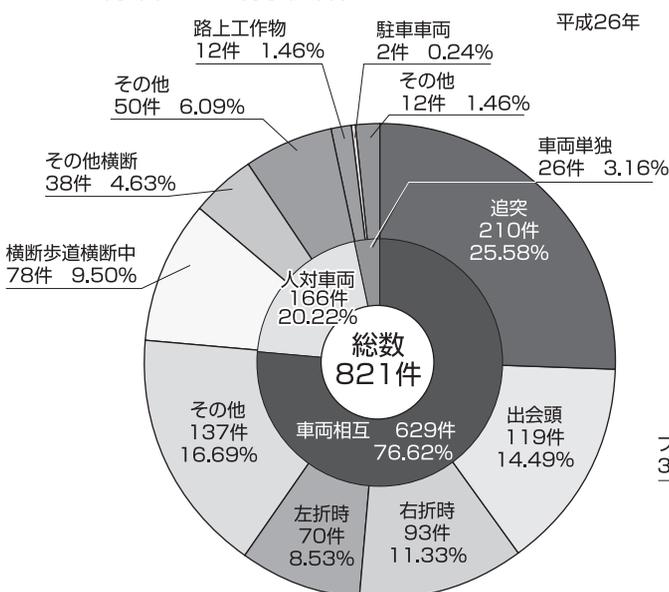
※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区曜日別事故件数



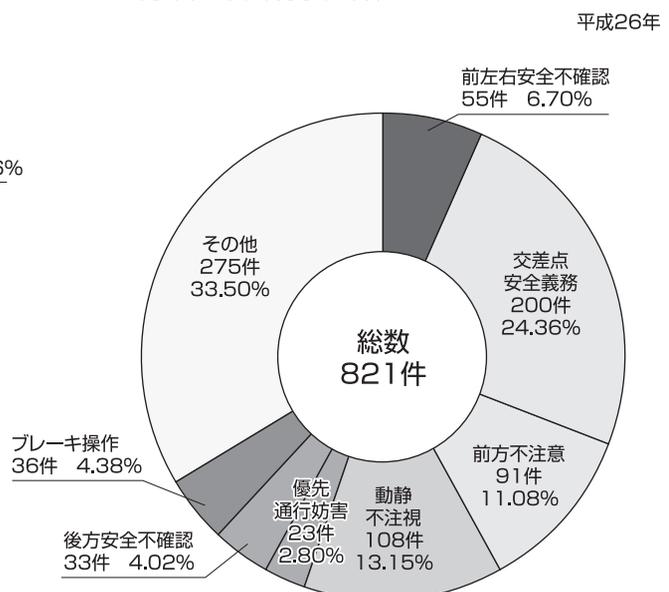
※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区類型別事故件数



※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区原因別事故件数

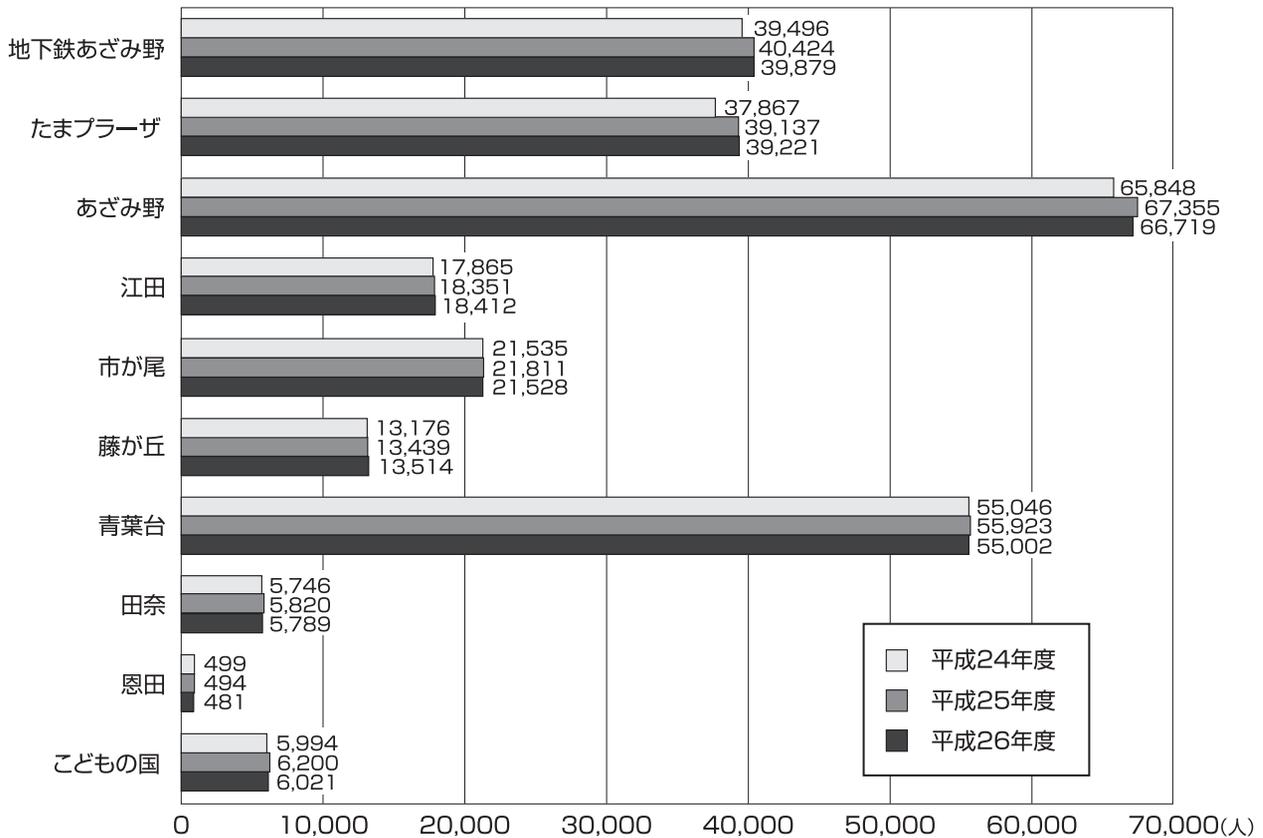


※ 資料：「平成26年 青葉区の交通事故状況」

## 4 暮らし・生活・環境

### (7) 乗客数

#### ●青葉区内各駅1日あたり乗客数の推移



※ 資料：横浜市交通局高速鉄道本部 営業課  
東京急行電鉄株式会社 運輸営業部計画一課

### (8) ガス・水道

～ 青葉区の1世帯1日あたりのガス・水道消費量は、横浜市平均を上回る ～

#### ●ガス

平成25年度

	需要戸数 (戸)	うち家庭用 (戸)	年間消費量 (1,000 m <sup>3</sup> )	うち家庭用 (1,000 m <sup>3</sup> )	世帯1日あたりの使用量 (家庭用のみ) (m <sup>3</sup> )
青葉区	120,708	117,313	64,746	48,759	1.14
横浜市	1,453,672	1,393,939	1,020,890	497,835	0.98

注1) 需要戸数には、業務用・医療用等を含みます。  
注2) 需要戸数は、平成26年度末の数値です。  
注3) 1世帯1日あたりの消費量については、区推計です。

※ 資料：東京ガス株式会社 横浜支店

#### ●水道

平成25年度

	給水戸数 (戸)	うち家庭用 (戸)	年間使用水量 (1,000 m <sup>3</sup> )	うち家庭用 (1,000 m <sup>3</sup> )	1世帯1日あたりの使用量 (家庭用のみ) (m <sup>3</sup> )
青葉区	137,362	132,110	29,834	26,053	0.54
横浜市	1,792,557	1,708,709	386,874	305,741	0.49

注1) 給水戸数には、業務用・公衆浴場用等を含みます。  
注2) 給水戸数は、平成25年度末の数値です。  
注3) 1世帯1日あたりの使用量については、区推計です。

※ 資料：横浜市水道局 総務部 総務課

## 4 暮らし・生活・環境



### (9) ごみ

～青葉区の平成26年度の燃やすごみ量は、25年度に比べ89トンの削減。1人一日あたりの燃やすごみ量(原単位)は、平成25年度比2グラム(0.5%)の削減。～

※平成27年度「アクション青葉」キーワードは5つ!「食べ残し、手つかず食品の削減」「生ごみの水切り」・「分別の徹底」・「せん定枝や草の乾燥」・「本のリユースを通じた古紙の削減、容器包装等の資源物の削減」です。

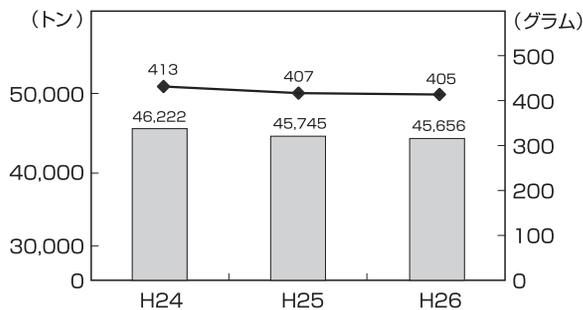
#### ●燃やすごみ量(平成26年度)

	燃やすごみ (トン)	対25年度比		1人一日あたりの燃やすごみ量 (グラム)	対25年度比	
		対25年度比	対24年度比		対25年度比	対24年度比
青葉区	45,656	▲0.2%	▲1.2%	405	▲0.5%	▲1.9%
横浜市	559,870	▲0.7%	▲2.7%	413	▲1.0%	▲3.1%

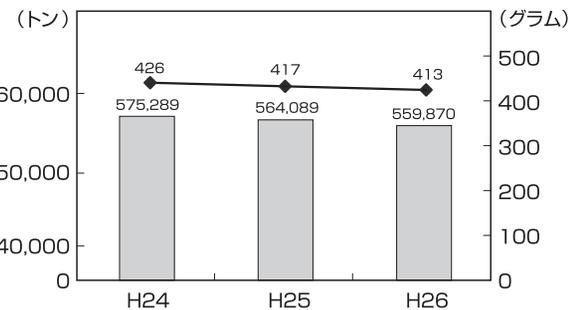
※ 資料：青葉区地域振興課

#### ●燃やすごみ量の推移

##### 【青葉区】



##### 【横浜市】



■ 燃やすごみ ◆ 1人一日あたりの燃やすごみ量

※ 資料：青葉区地域振興課

#### ●青葉区燃やすごみ量の年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	3,846	4,303	4,224	4,086	3,621	3,629	4,044	3,727	4,036	3,670	3,117	3,919	46,222
H25年度	4,059	4,107	3,886	3,941	3,828	3,705	3,710	4,014	4,003	3,718	2,976	3,798	45,745
前年度差	213	△196	△338	△145	207	76	△334	287	△33	48	△141	△121	△477
H26年度	3,825	4,305	3,797	3,870	3,853	3,887	3,704	3,727	4,269	3,691	3,056	3,671	45,656
前年度差	△234	198	△89	△71	25	182	△6	△287	266	△27	80	△127	△89

※ 資料：青葉区地域振興課

#### ●青葉区資源ごみ(缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装など)の年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	717	804	756	777	799	731	761	717	738	831	667	743	9,042
H25年度	753	807	738	813	806	743	766	722	736	837	655	735	9,110
前年度差	36	3	△18	36	7	12	5	5	△2	6	△12	△8	68
H26年度	743	798	732	797	769	749	754	678	769	835	663	725	9,012
前年度差	△10	△9	△6	△16	△37	6	△12	△44	33	△2	8	△10	△98

※資源集団回収量は含まれません。

※ 資料：青葉区地域振興課

## 4 暮らし・生活・環境

### (10) 消防・救急

～ 平成26年の青葉区の火災発生件数は、前年より減少～

#### ア 消防

##### ●火災発生状況

(単位：件)

		総数	建物火災	林野	車両火災	船舶火災	雑草火災	その他
青葉区	平成25年	52	26	—	6	—	7	13
	平成26年	38	20	—	7	—	5	6
横浜市	平成25年	968	540	—	59	2	—	367
	平成26年	950	535	—	76	—	—	339

※ 資料：青葉消防署警防課

##### ●月別火災発生件数

(単位：件)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
青葉区	平成25年	1	9	8	4	5	2	2	4	4	3	3	7	52
	平成26年	4	4	4	3	4	0	3	2	5	3	3	3	38
横浜市	平成25年	123	90	100	83	76	60	73	73	59	50	90	91	968
	平成26年	97	94	118	81	81	51	68	72	76	54	83	75	950

※ 資料：青葉消防署警防課

##### ●火災の主な原因

(単位：件)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位					
青葉区	平成25年	放火 (疑いを含む)	8	接続器	5	たばこ	5	火遊び	5	(車両) 排気管	3
	平成26年	たばこ	7	こんろ	3	枯草焼き	3	放火 (疑いを含む)	2	食用油 過熱出火	2
横浜市	平成25年	放火 (疑いを含む)	310	たばこ	136	こんろ	45	食用油 過熱出火	43	ストーブ	27
	平成26年	放火 (疑いを含む)	306	たばこ	118	こんろ	55	食用油 過熱出火	51	ストーブ	32

※ 資料：青葉消防署警防課

##### ●青葉区町丁別放火火災(疑いを含む)発生状況(平成26年)

(単位：件)

すみよし台	荇子田三丁目	計
1	1	2

※ 資料：青葉消防署警防課

#### イ 救急

##### ●救急出動件数

(単位：件)

		急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
青葉区	平成25年	6,349	1,851	749	853	9,802
	平成26年	6,584	1,903	732	897	10,116
横浜市	平成25年	115,803	29,934	12,419	15,616	173,772
	平成26年	117,981	30,860	11,717	15,561	176,119

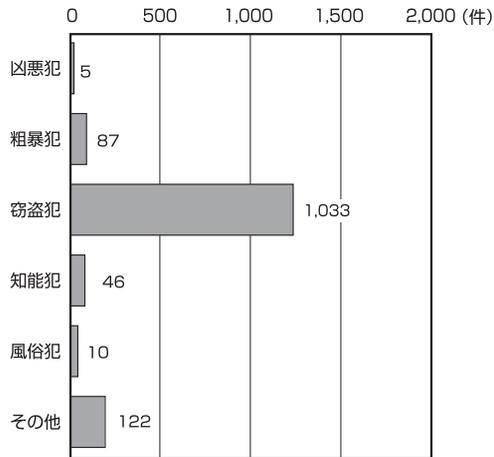
注) 救急出動件数は速報値です。

※ 資料：青葉消防署警防課

(11) 犯罪

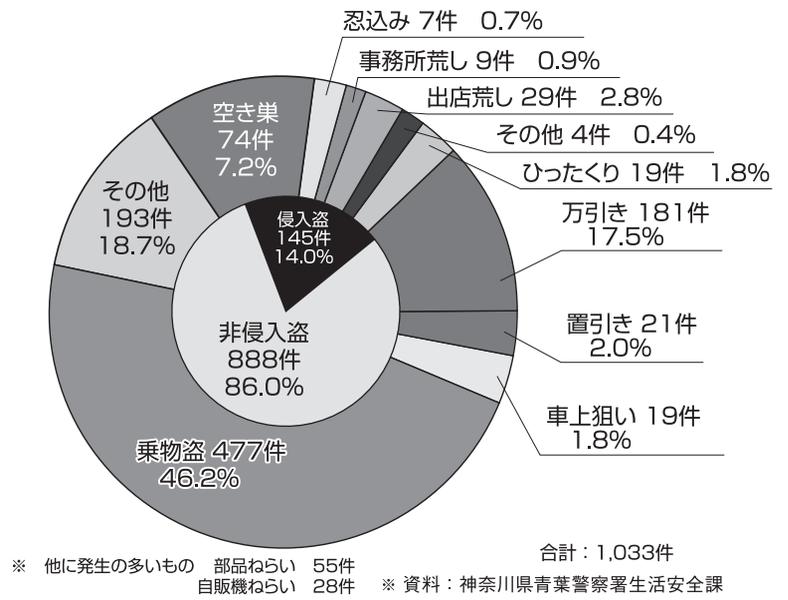
～ 犯罪件数は平成16年の半分以下に減少 ～

●青葉区で認知された犯罪件数 平成26年



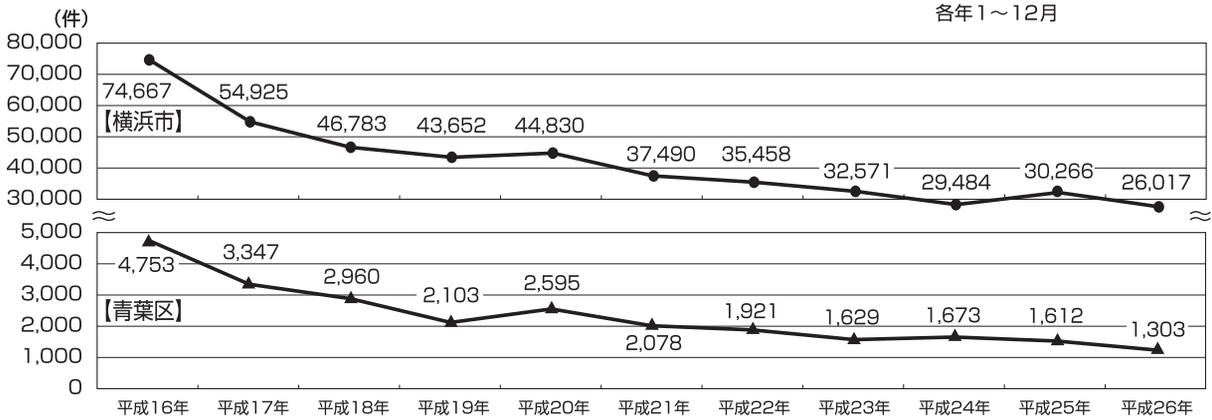
※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課  
 凶悪犯：殺人、強盗、放火、強姦  
 粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝  
 窃盗犯：侵入盗、非侵入盗  
 知能犯：詐欺、偽造、横領、背任、汚職  
 風俗犯：賭博、わいせつ  
 その他：占有離脱物横領等

●青葉区で認知された窃盗犯の内訳 平成26年



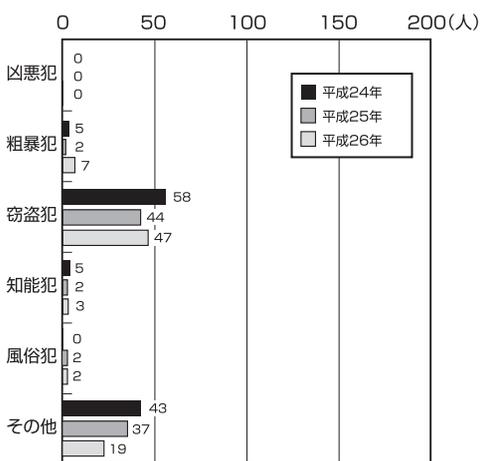
※ 他に発生が多いもの 部品ねらい 55件 自販機ねらい 28件 ※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●横浜市と青葉区の犯罪認知件数の推移



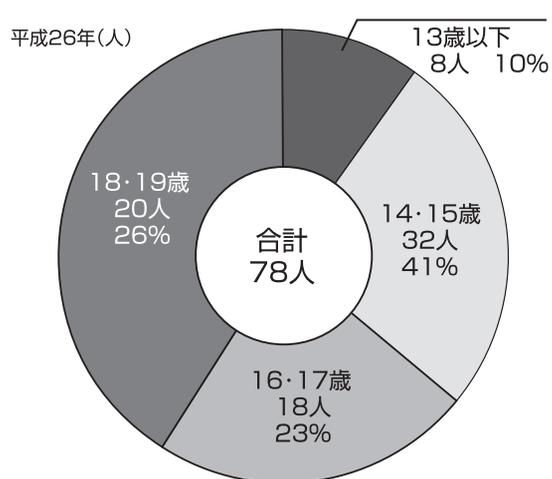
※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●青葉区で検挙された刑法犯青少年犯罪件数の推移



※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●青葉区で検挙された刑法犯青少年犯罪の年齢別内訳



※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

※このページに掲載されているデータは、青葉警察署で把握しているデータです。神奈川県警では、市区町村別に発生件数をとらえていますので、掲載しているデータとは異なる場合があります。

## ☆青葉区内において、市民利用施設の整備を進めています!

### 【コミュニティハウス】

荏田富士塚公園内において、荏田西コミュニティハウスの整備を進めます。開館は平成28年1月の予定です。完成すれば、青葉区で8館目のコミュニティハウスとなります。趣味のサークルやボランティア、各種集会など、地域の皆さんの交流の場として、ぜひご活用ください。

- 建設地 荏田西一丁目4-2(荏田富士塚公園内)
- 施設内容 会議室(大・小)、地域ニース室、ミニキッチンなど



また、あざみ野南において、荏田コミュニティハウス(仮称)の新設整備に向けた地質調査及び測量を行います。

### 【地域ケアプラザ】

すすき野地区において、地域における身近な福祉・保健活動の拠点となるすすき野地域ケアプラザ(仮称)を整備します。今年度は、平成28年度の開所に向けて建設工事に着手します。

## ☆街路樹がつくるまち並み

都市の魅力を向上させる街路樹が、青葉区には約15,000本植えられています。本数は、18区中最も多く、まち並みに彩りを添え、統一感をもたらしています。平成26年の区制20周年の際には、「並木道」をテーマに、区民の皆さまに写真募集を呼びかけ、区内の魅力ある並木道が記念切手となって紹介されました。



街路樹には、①季節の移り変わりを感じさせ、安らぎを与える。②木陰をつくって日差しをさえぎり、道路や周囲の気温の上昇を抑える。③葉の呼吸で二酸化炭素を取り込んで、酸素をつくり出し、密集した葉が騒音を抑える等の効果があります。

現在、地域の皆さまのご要望やご意見をいただきながら、街路樹のリニューアル工事を進めています。美しが丘三丁目では、プラタナスからヤマボウシに植え替えるリニューアル工事が平成27年2月に終わりました。植樹帯の形を変え、木を植える間隔を広くして、歩きやすい歩道となりました。

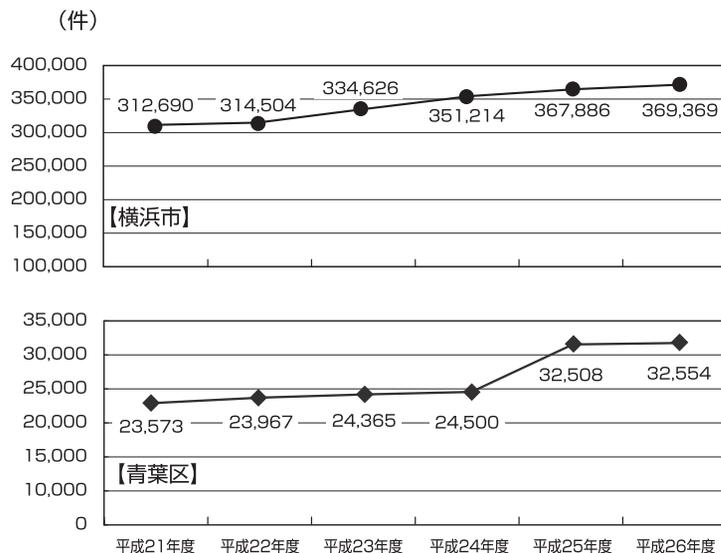
## 6 福祉



### (1) 福祉保健相談

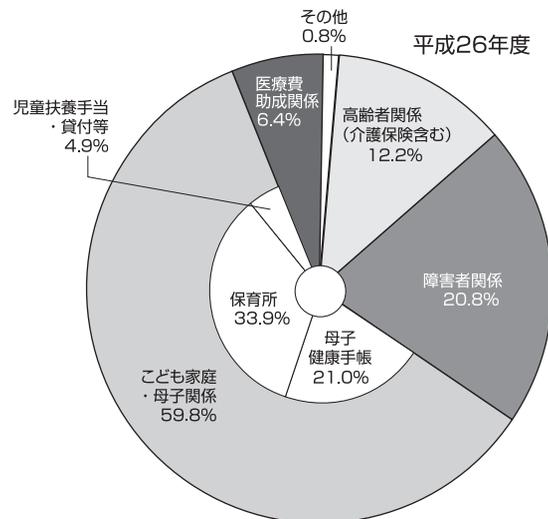
～福祉保健相談件数は、母子健康手帳交付や保育所入所などのこども・母子・女性相談等が半数近くを占める～

#### ●相談件数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

#### ●青葉区の相談内容別割合



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

### (2) 生活保護

～青葉区の被保護世帯数は、平成20年以降急増している～

#### ●被保護世帯数・被保護人員

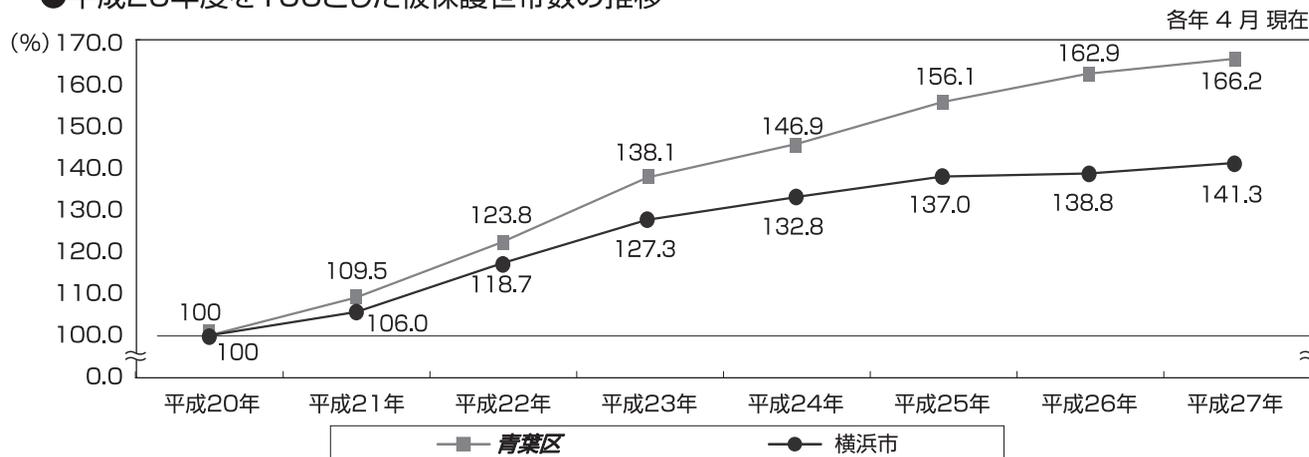
各年 4 月現在

年度	青葉区				横浜市			
	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (%)	被保護人員 (人)	保護率 (%)	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (%)	被保護人員 (人)	保護率 (%)
平成20年	1,054	9.0	1,477	4.9	37,429	24.3	50,905	14.0
平成21年	1,155	9.7	1,612	5.4	39,691	25.3	53,831	14.7
平成22年	1,305	10.8	1,857	6.1	44,438	28.1	60,633	16.5
平成23年	1,456	12.1	2,043	6.7	47,679	30.0	65,533	17.8
平成24年	1,549	12.7	2,158	7.1	49,710	31.1	68,184	18.5
平成25年	1,646	13.4	2,324	7.6	51,308	31.9	69,906	18.9
平成26年	1,724	13.9	2,428	7.9	52,054	32.1	70,428	19.0
平成27年	1,752	14.0	2,459	8.0	52,907	32.3	71,022	19.1

※ 資料：青葉区生活支援課 平成27年4月分

注) 保護率 (%/パーミル) とは、世帯数1000世帯・人口1000人に対する被保護世帯数・被保護人員の割合のことです。保護率については、各年4月現在の世帯数・人口をもとに計算しています。

#### ●平成20年度を100とした被保護世帯数の推移



※ 資料 青葉区生活支援課

## 6 福祉

### (3) 高齢者福祉

～ 介護保険認定者数は年々増加 ～

#### ●青葉ふれあい見守り事業（高齢者等定期訪問）対象者数（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ひとり暮らし高齢者	1,155	1,081	1,116	1,259	1,189
高齢者世帯	168	168	161	167	168
その他の高齢者	98	82	100	127	114

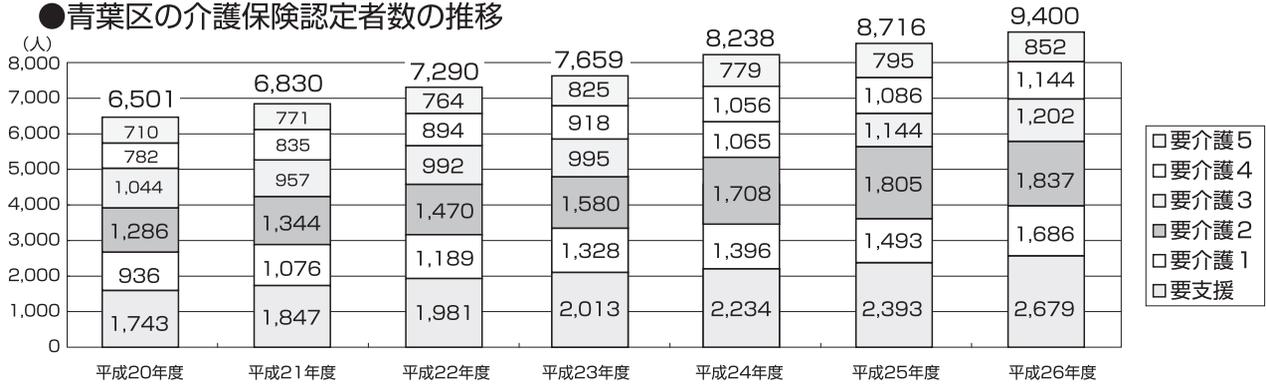
注) 民生委員等から高齢者等の訪問事業を通じて連絡を受け、福祉保健課で把握している人数です。  
※ 資料：青葉区福祉保健課

#### ●青葉区内の介護施設数

	施設数
デイサービス(通所介護)	60
ケアプラザ	11
介護老人保健施設	6
特別養護老人ホーム	12

(平成27年6月1日現在)

#### ●青葉区の介護保険認定者数の推移

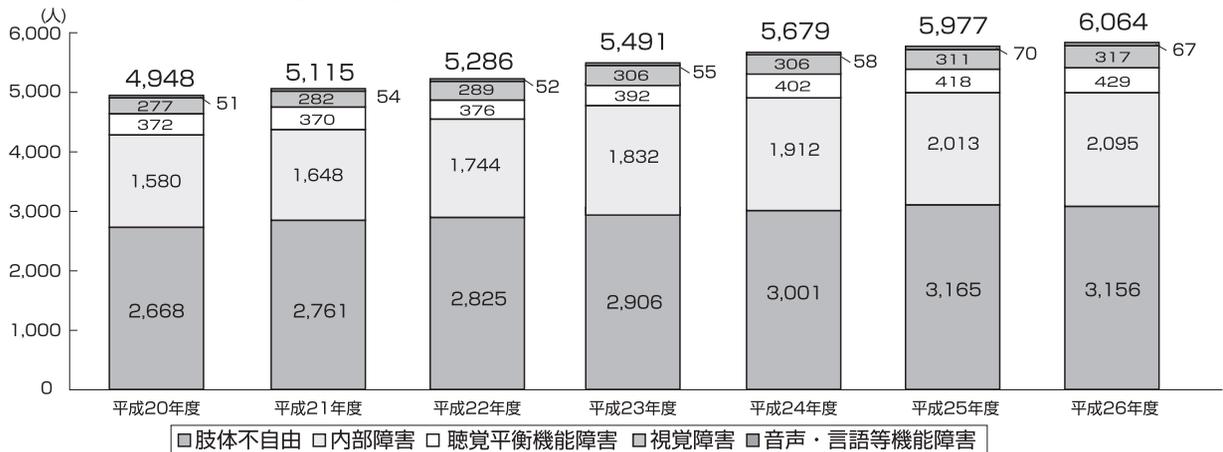


※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

### (4) 障害者福祉

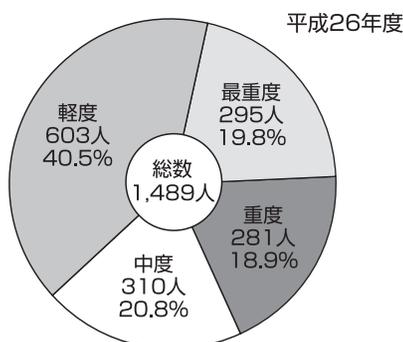
～ 身体障害者手帳所持者数は年々増加 ～

#### ●青葉区の身体障害者手帳所持者数



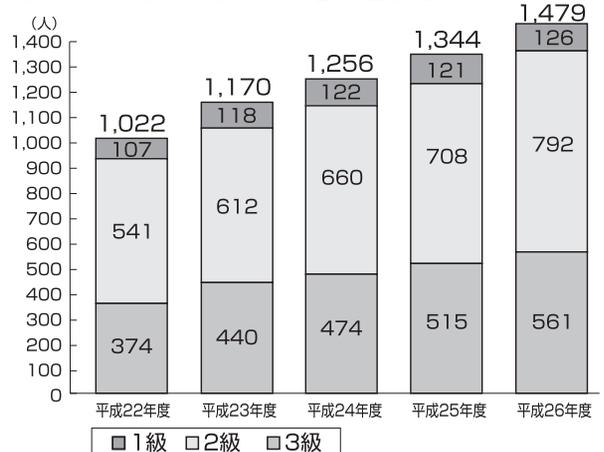
※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

#### ●青葉区の知的障害者療育手帳(愛の手帳)所持者数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

#### ●青葉区の精神障害者保健福祉手帳所持者数



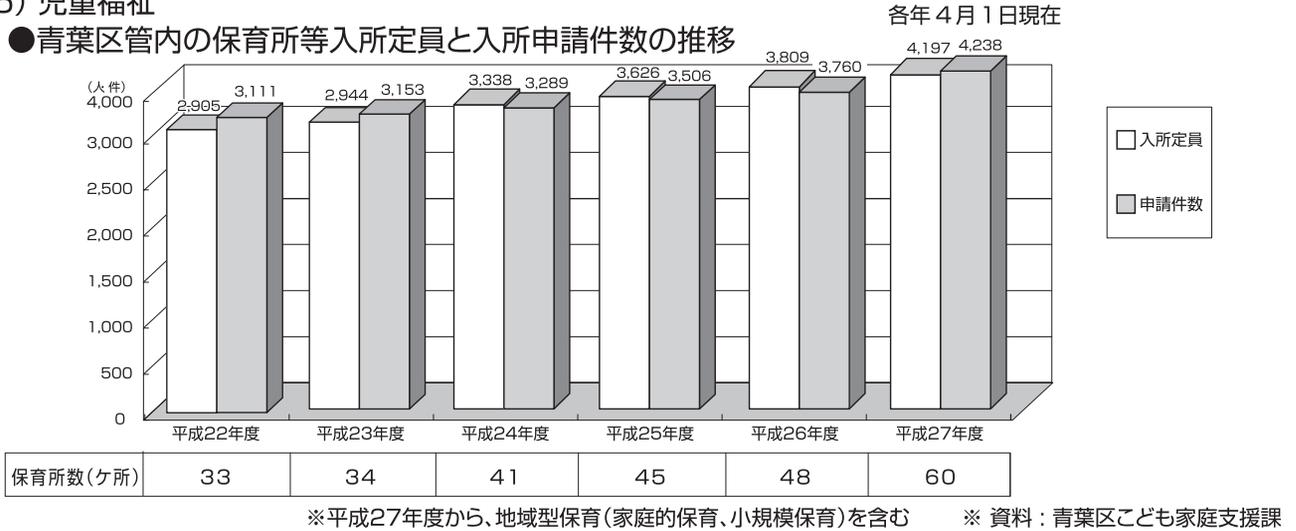
※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

## 6 福祉

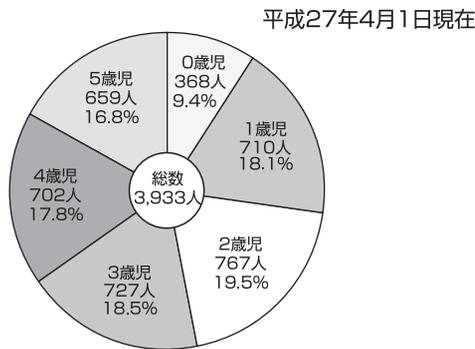


### (5) 児童福祉

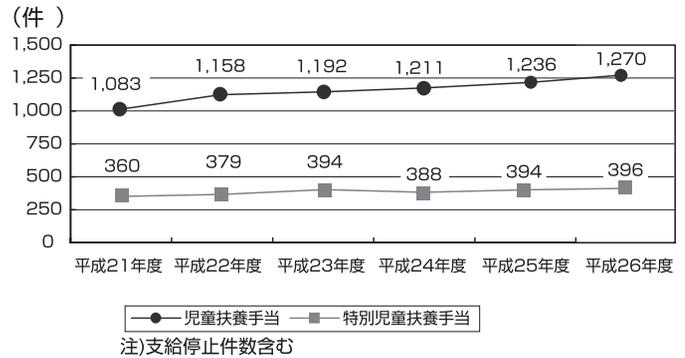
#### ●青葉区管内の保育所等入所定員と入所申請件数の推移



#### ●青葉区管内保育所等の年齢別入所状況

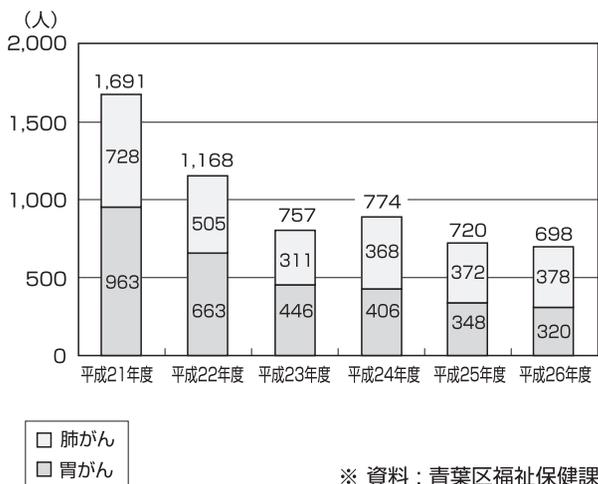


#### ●青葉区児童扶養手当支給件数の推移

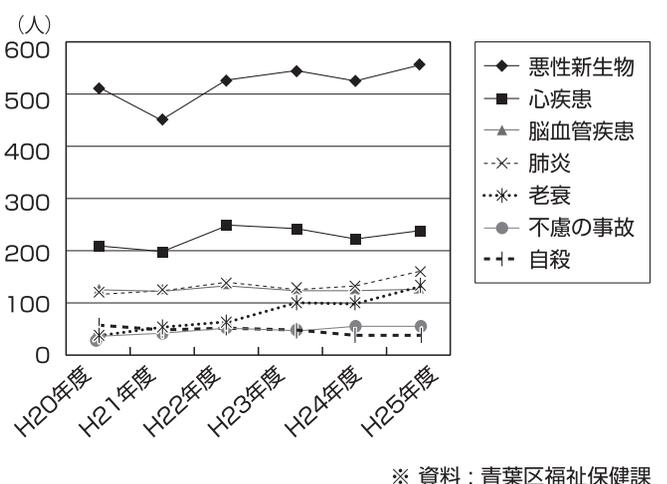


### (6) 保健

#### ●福祉保健センターで実施したがん検診の受診者



#### ●青葉区の子主な死因



～青葉区の犬の登録数は年々増加～

●犬の登録数の推移

	青葉区	横浜市
平成21年度	15,095	164,893
平成22年度	15,572	171,789
平成23年度	15,981	177,176
平成24年度	16,416	177,010
平成25年度	16,609	182,738
平成26年度	16,561	182,401

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の衛生害虫等相談件数

	総件数	うちハチの件数
平成21年度	926	778
平成22年度	710	637
平成23年度	353	265
平成24年度	794	536
平成25年度	507	351
平成26年度	451	297

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の商品衛生関係業務における監視指導等件数

	対象施設数 (件)	調査・ 監視指導件数 (件・のべ)	許可件数(件)		廃業件数 (件)	報告届出済証 発行件数 (件)
			新規	更新		
平成21年度	3,951	1,344	315	230	769	267
平成22年度	4,167	2,081	308	330	247	215
平成23年度	4,300	1,460	304	302	230	199
平成24年度	4,423	1,037	289	276	264	201
平成25年度	4,472	1,880	357	287	396	208
平成26年度	4,652	1,685	296	197	221	181

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区的环境衛生営業等関係業務における指導・届出等件数の推移

※環境衛生営業関係等業務における件数は、理容、美容、クリーニング、公衆浴場、興行場、旅館、墓地、水道、ビル管、登録業、動物取扱業等の全施設を入れていきます。

	施設数 (件)	監視指導 (件)	申請・届出(件)				許可・変更調査 (件)	その他調査 (件)	相談等 (件)
			申請等	変更	廃止	その他			
平成25年度	2,589	180	57	268	60	61	64	21	102
平成26年度	2,565	342	77	216	156	14	63	19	201

※ 資料：青葉区生活衛生課



犬の飼い主は、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射を行うことが法律で義務づけられています。また、登録、注射をした犬には鑑札と注射済票を付けることも義務づけられています。予防注射は動物病院で受けることができます。

【横浜市動物愛護センターHP】

## 8 国民年金・国民健康保険

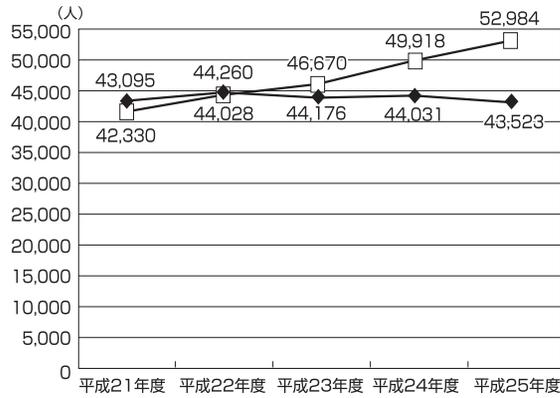


### (1) 国民年金

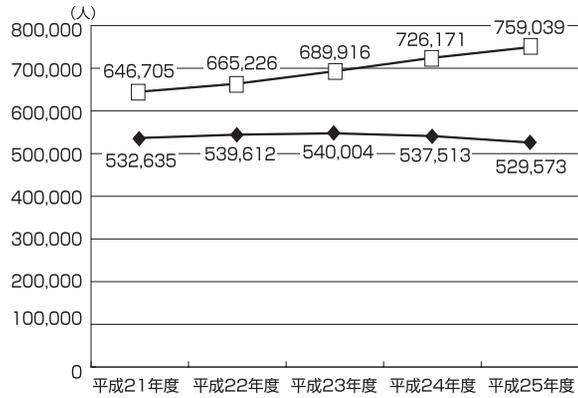
～ 年金受給者数は年々増加 ～

#### ●被保険者数と受給者数の推移

##### 【青葉区】



##### 【横浜市】



注)被保険者数は、第1号被保険者及び任意被保険者

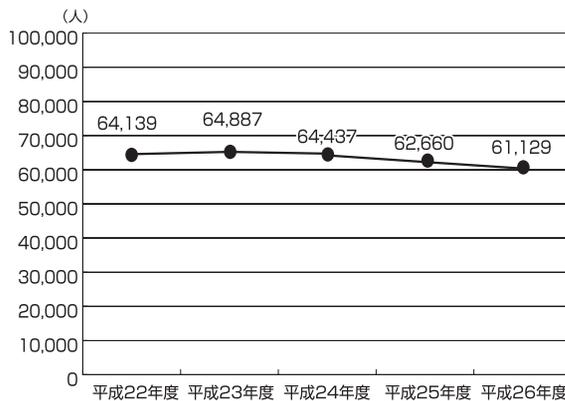
◆ 被保険者数 □ 受給者数

※資料:青葉区保険年金課

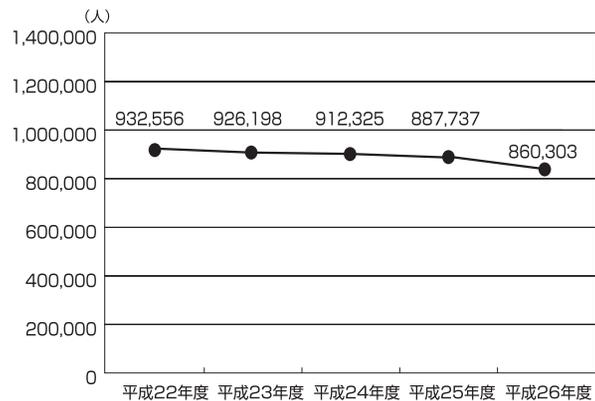
### (2) 国民健康保険

#### ●被保険者数の推移

##### 【青葉区】



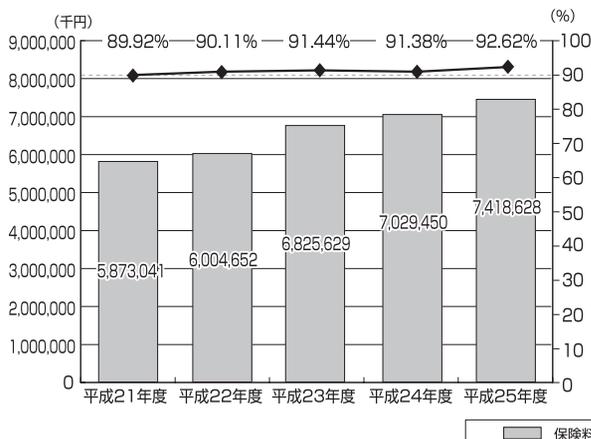
##### 【横浜市】



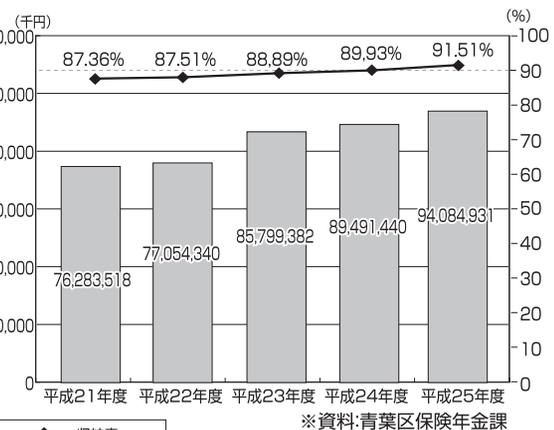
※資料:青葉区保険年金課

#### ●保険料収納状況の推移

##### 【青葉区】



##### 【横浜市】



※資料:青葉区保険年金課

注)保険料収納額と収納率は、現年度分です。

## 9 教育・生涯学習

### (1) 学校

～ 青葉区の帰国児童生徒は 18区の中で突出して多い ～

#### ●学校数・在学者数

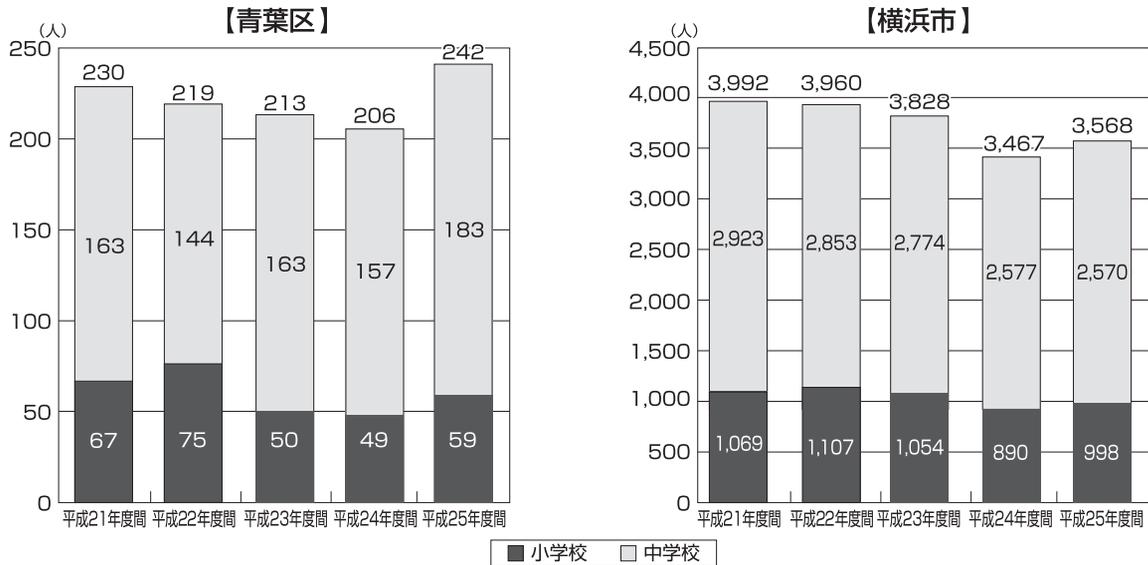
平成26年5月1日現在

	青葉区				横浜市			
	学校数 (校)	総数 (人)	男 (人)	女 (人)	学校数 (校)	総数 (人)	男 (人)	女 (人)
幼稚園	21	5,689	2,846	2,843	282	56,722	28,691	28,031
小学校	33	17,792	9,327	8,465	354	189,231	97,332	91,899
中学校	14	8,374	4,561	3,813	180	95,990	49,700	46,290
高等学校	4	5,658	3,068	2,590	92	82,335	40,781	41,554
中等教育学校	1	983	983	—	2	1,554	983	571
専修学校	1	29	21	8	62	17,967	7,917	10,050

※資料:「平成26年度 神奈川県学校基本調査結果報告」

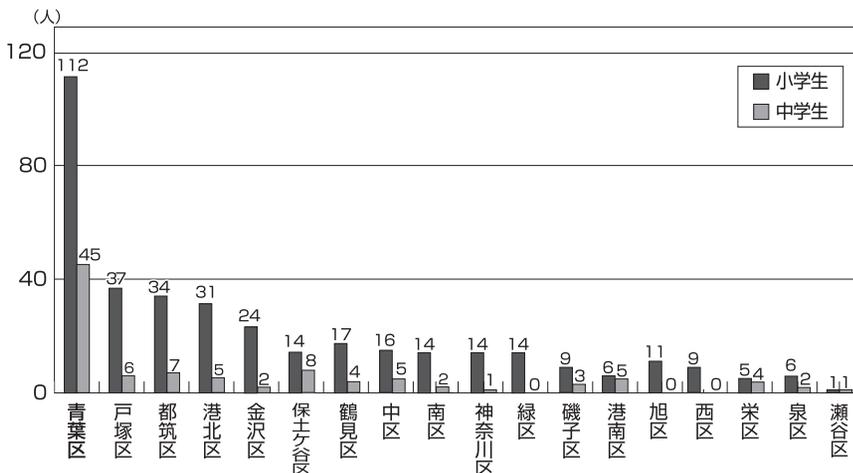
注)中等教育学校とは、中高一貫教育校として、前期課程(3年)及び後期課程(3年)からなる修業年限6年の学校です。

#### ●年度別不登校者数の推移



注) 年度間に30日以上欠席した児童生徒のうち、不登校が理由の児童生徒の数 ※資料:「平成26年度 神奈川県学校基本調査結果報告」

#### ●行政区別の帰国児童生徒数



注) 平成25年度間に公立の小中学校へ編入学した帰国児童生徒の数

※資料:「平成26年度 神奈川県学校基本調査結果報告」



青葉区にある放課後児童クラブは19施設、放課後キッズクラブは15施設、はまっ子ふれあいスクールは16施設で実施されており、小学生にとって放課後の居場所が安全で快適なものとなるようにサポートしています。

※クラブ数:H27.4.1現在



(2)文化

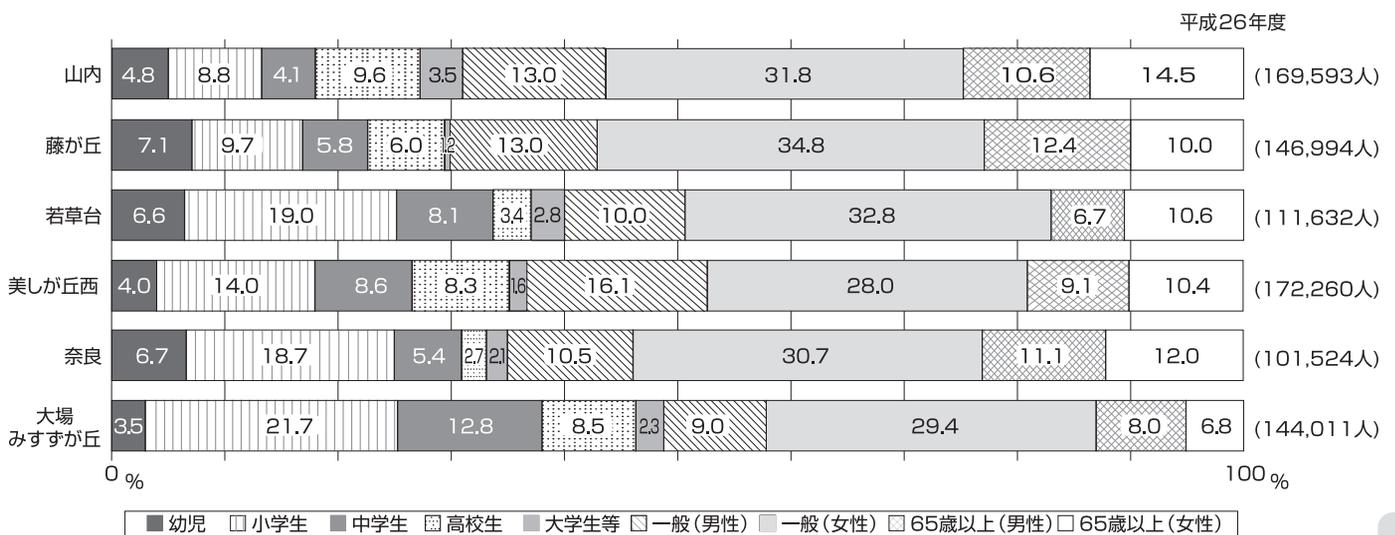
～ 地区センターの1日平均利用者数は約2,300人 ～

●青葉区内の区民利用施設利用状況

	平成 22年度		平成 23年度		平成 24年度		平成 25年度		平成 26年度	
	箇所数	利用者数(人)								
公会堂	1	91,395	1	103,203	1	105,634	1	106,991	1	118,928
地区センター	6	756,410	6	758,323	6	790,862	6	815,221	6	845,964
コミュニティハウス	7	201,552	7	202,714	7	207,678	7	216,650	7	216,721
老人福祉センター	1	82,381	1	77,117	1	81,387	1	76,134	1	76,801
スポーツセンター	1	411,564	1	416,952	1	410,794	1	378,326	1	372,720
スポーツ会館	1	18,120	1	18,047	1	14,631	1	18,711	1	19,804
横浜青葉スポーツ広場	1	71,701	1	66,771	1	72,219	1	75,590	1	34,219
国際交流ラウンジ	1	17,127	1	16,293	1	17,242	1	17,340	1	18,623
こどもログハウス	1	116,421	1	98,005	1	119,588	1	114,154	1	126,731
区民文化センター							1	78,184	1	93,736

※資料:青葉区地域振興課

●青葉区内の地区センター階層別利用状況



※資料: 青葉区地域振興課

●平成26年度 区民活動支援センター利用実績

会議室の利用	交流コーナーの利用など	学習機材の貸出	学習情報の提供・相談
4,504	1,327	1,033	887

(件)

※資料: 青葉区地域振興課



青葉区民芸術祭

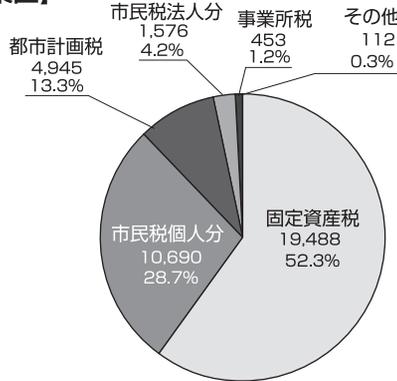
青葉区民芸術祭は、地域の芸術文化振興を目的として開催しています。ステージ部門ではコーラスのつどい、音楽祭、芸能祭と毎年多くの団体が日頃の成果を発揮し、見ごたえのある素晴らしい舞台をつくりあげています。展示部門では、多彩なジャンルの作品が集まり、数多くの個性豊かな作品展を楽しむことができます。あなたも会場で文化の薫り高いまち、青葉区を実感してみませんか。



(1)市税収入

● 市税収入の税目別構成比(平成25年度)

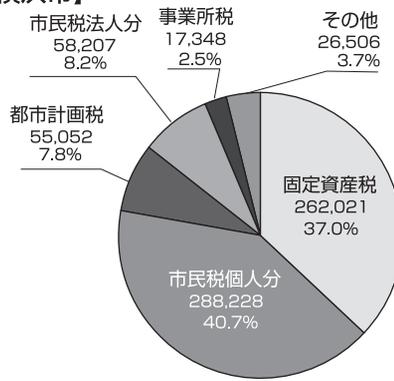
【青葉区】



総額：37,264百万円

【横浜市】

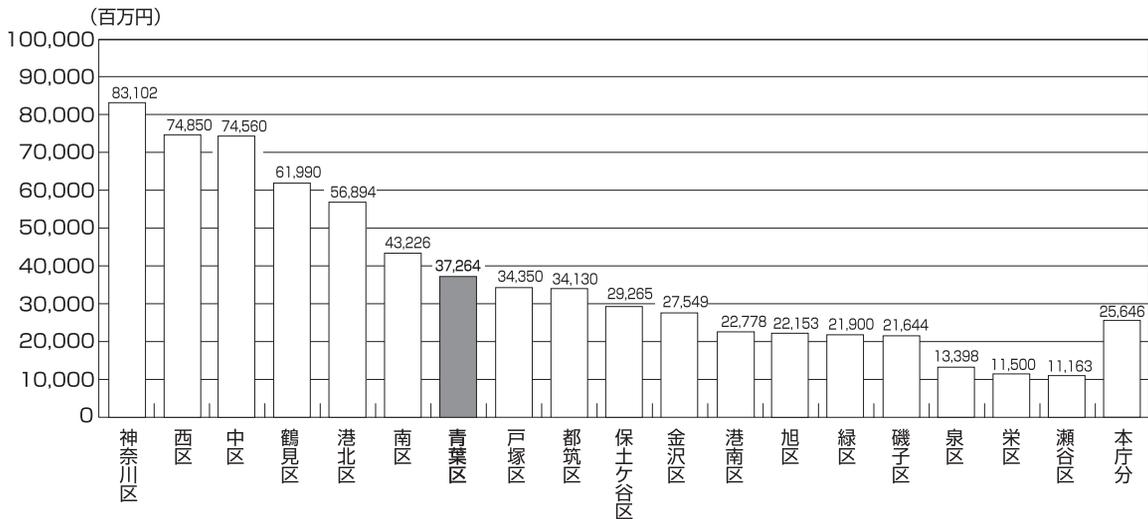
(単位:百万円)



総額：707,362百万円

※資料:「市税決算額調」

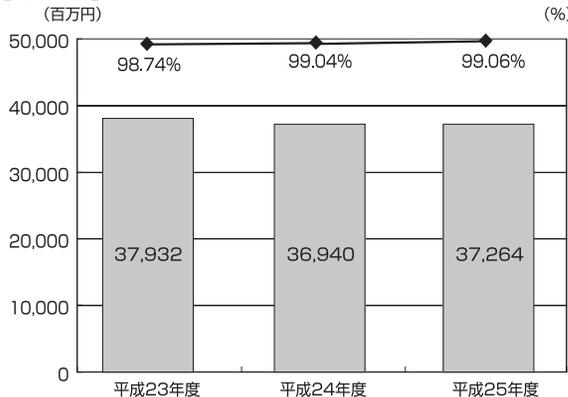
● 市税収入の区別収入額の割合(平成25年度)



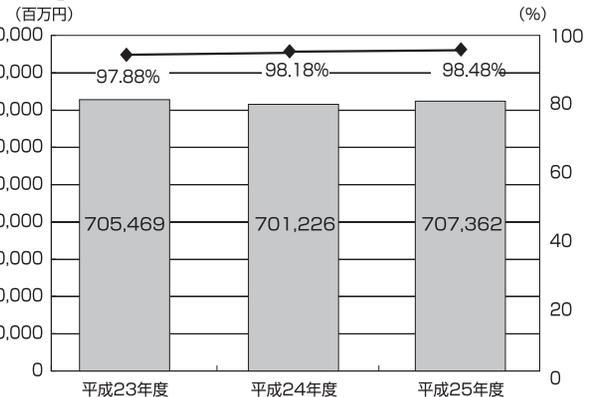
※資料:「市税決算額調」

● 市税収入額及び収入歩合の推移(3カ年)

【青葉区】



【横浜市】



■ 収入額 ◆ 収入歩合

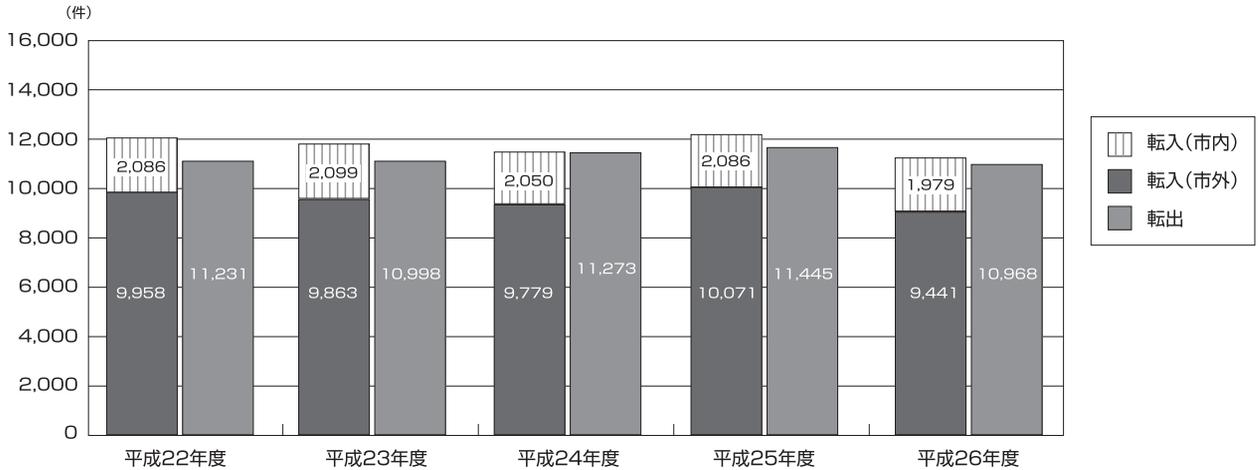
※資料:「市税決算額調」



(1) 住民異動届

～ 住民異動届は3月と4月が突出して多く、その他の月はほぼ横ばい～

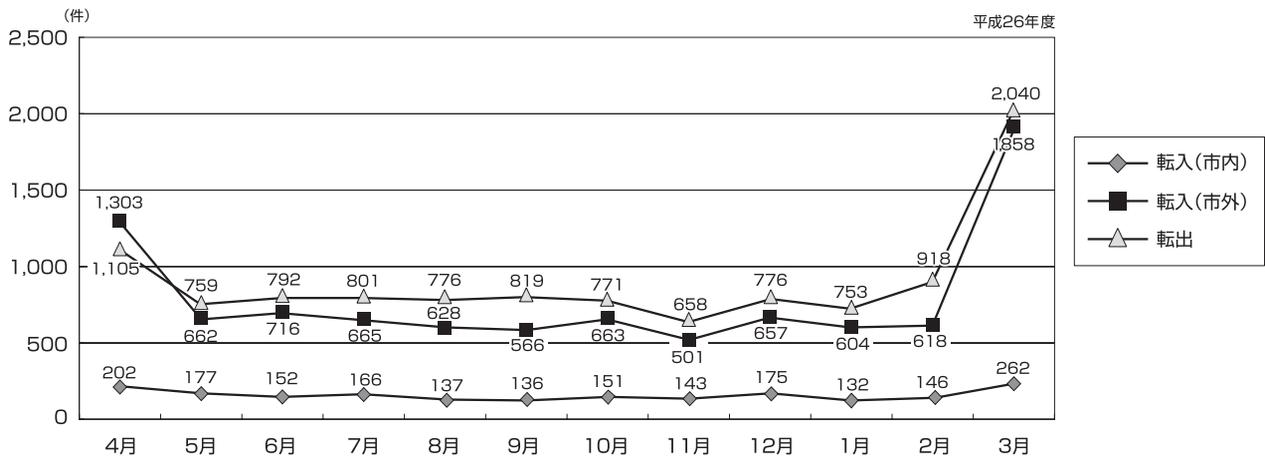
●青葉区の住民異動届出件数の推移



注)窓口受付件数のみ。転出は国外移住を含んでいません。

※資料:青葉区戸籍課

●青葉区の月別住民異動届出件数

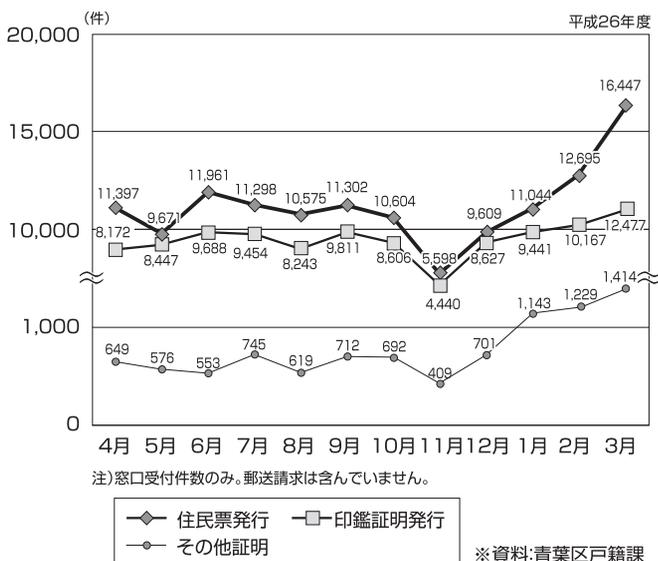


注)窓口受付件数のみ。転出は国外移住を含んでいません。

※資料:青葉区戸籍課

(2) 住民登録・その他

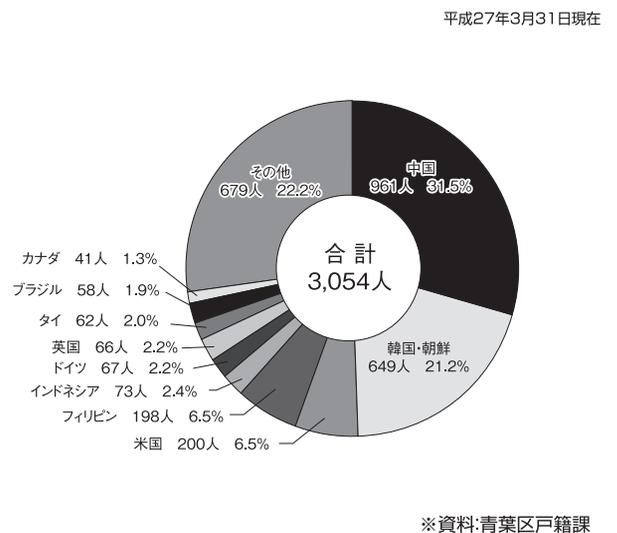
●青葉区の月別証明書発行件数



注)窓口受付件数のみ。郵送請求は含んでいません。

※資料:青葉区戸籍課

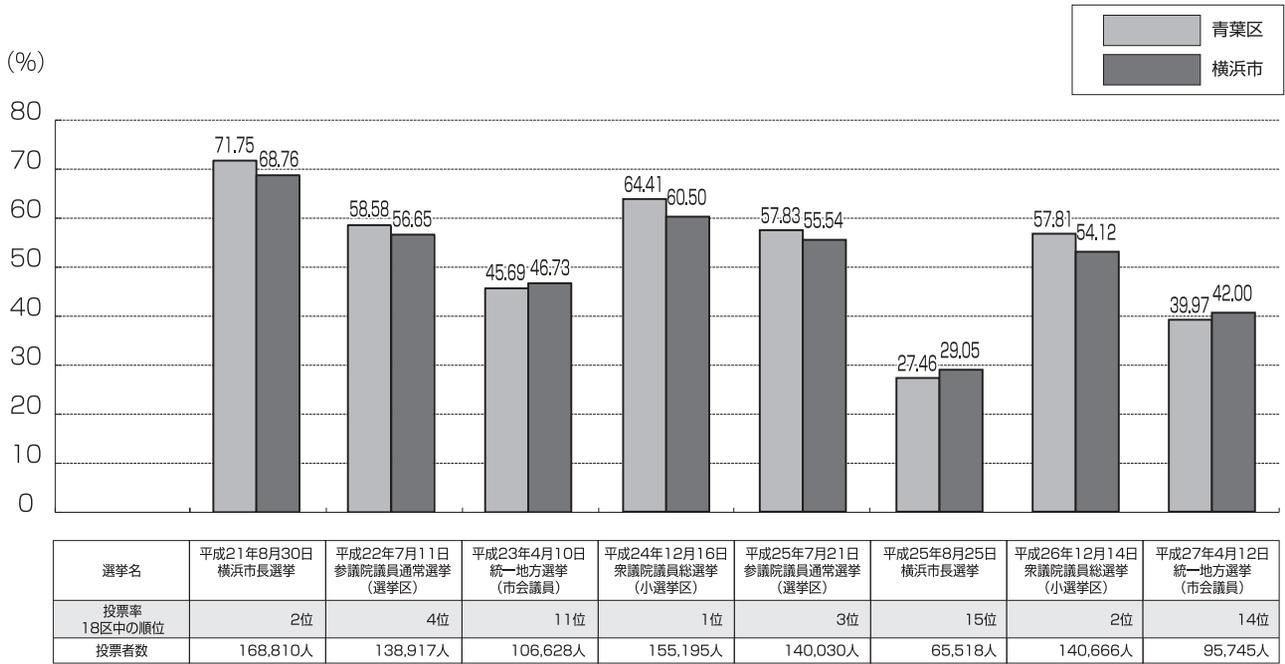
●青葉区の外国人登録人口



※資料:青葉区戸籍課



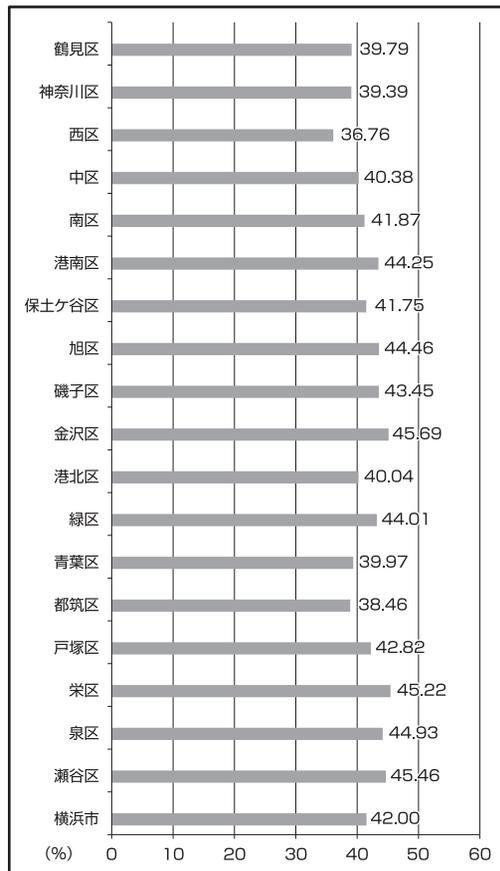
●各種選挙別投票率



※資料:青葉区選挙管理委員会

●平成27年4月12日執行 統一地方選挙(市会議員)

区別投票率



青葉区投票所別投票率

投票区	投票所	投票率 (%)
1	田奈小学校	39.08
2	奈良中学校	39.02
3	奈良小学校	42.33
4	青葉台小学校	42.30
5	青葉台中学校	38.96
6	櫻が丘小学校	40.56
7	さつきが丘小学校	35.67
8	つつしが丘小学校	38.85
9	藤が丘小学校	39.86
10	谷本中学校	40.91
11	谷本小学校	36.24
12	緑が丘中学校	36.09
13	もえぎ野小学校	41.24
14	みたけ台中学校	37.17
15	鉄小学校	44.48
16	大場町一心会館	40.55
17	鴨志田緑小学校	45.99
18	鴨志田第一小学校	43.28
19	市ヶ尾小学校	39.43
20	青葉区役所	34.02
21	東市ヶ尾小学校	34.76
22	荇田小学校	35.04
23	山内小学校	36.32
24	あざみ野中学校	39.56
25	山内中学校	38.04
26	あざみ野第一小学校	43.42
27	たまプラーザ団地集会所	44.02
28	美しが丘東小学校	37.83
29	美しが丘中学校	43.06
30	元石川小学校	39.97
31	すすき野小学校	42.38
32	嶮山小学校	47.05
33	恩田小学校	38.48
34	美しが丘西区センター	41.63
35	荇田小学校	39.61
36	新石川小学校	35.27
37	あざみ野第二小学校	42.64
38	荇子田小学校	36.53
39	奈良の丘小学校	42.69
40	奈良地区センター	41.43
41	あかね台中学校	42.12
42	みたけ台小学校	42.90

※資料:青葉区選挙管理委員会

## 13 統計調査



この冊子のデータは、様々な統計調査などによって得られたものです。

統計は、国や地方公共団体が行政を行うための大切な資料として活用されています。

また、広く民間にも利用され、大きな影響を与えています。

### ●基幹統計調査について

「統計法」に基づき、国や市などの地方自治体が作成する統計を「基幹統計」といい、それを作成するための調査を「基幹統計調査」といいます。

平成27年3月25日現在、基幹統計は55統計あります。

### ●主な基幹統計調査等

主管庁	調査名	調査内容	調査方法	調査周期	基準日
総務省	国勢調査	人口(年齢別、市町村別など)、世帯数、労働力状態、昼夜間人口など	全数	5年	10月1日
	経済センサス基礎調査	全事業所の地域別、産業別、規模別での事業所数・従業者数など	全数	5年	7月1日
	経済センサス活動調査	全事業所の地域別、産業別、規模別での活動状況など	全数	5年	2月1日
	住宅・土地統計調査	住宅の構造・タイプ、住宅・住環境に対する意識など	標本	5年	10月1日
	就業構造基本調査	国民の就業及び不就業の実態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎的事項など	標本	5年	10月1日
	全国消費実態調査	家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産等	標本	5年	9月1日
経済産業省	工業統計調査	製造業の実態(事業所数、出荷額等、製造品目など)など	全数	毎年	12月31日
	商業統計調査	商業事業所の分布状況、犯罪活動等、商業の実態など	全数	5年	7月1日
文部科学省	学校基本調査	学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等	全数	毎年	5月1日
農林水産省	農林業センサス	農林業に関する基本的な事項など	全数	5年	2月1日

#### ●全数調査

……観察しようとする集団の全部について調査するもの

#### ●標本調査

……観察しようとする集団の一部を無作為に抜き出し、その部分だけを調査し、その結果に基づいて集団全体の状態を集計するもの

### ●平成27年度に行われる調査

国勢調査、学校基本調査

### ●平成28年度に行われる調査

経済センサス活動調査、工業統計調査、学校基本調査



#### 国勢調査が“スマート”に変身!

国勢調査は、10月1日を調査期日に、国内に居住するすべての方(外国人を含む)を対象に5年に1度実施される、国の最も重要かつ最大規模の統計調査です。

今回の調査からパソコン・スマートフォンからの回答(『インターネット回答』)が導入され、提出が今までよりも簡単(スマート)になります。

インターネット回答期間中なら「いつでも」「どこでも」回答でき、インターネット回答を送信すれば調査完了となります。(紙の調査票の提出は不要。)

国勢調査の回答は、ぜひインターネット回答をご利用ください!

(1)避難場所・避難方法

# 確認しておこう!! 災害時の行動

## 地震にあったら

- ▶ ガラスや落下物から身を守り、出口を確保しましょう。
- ▶ 避難の前に火元・電気の確認をしましょう。
- ▶ ご近所同士協力して避難しましょう。
- ▶ 自宅に倒壊の危険がなく、周辺で火災が発生するおそれがないときは避難の必要はありません。避難の必要があるかどうか迷う場合は近所の公園など、自治会・町内会や地域で決めた場所(「いつ避難場所」)へ移動して、様子を見ましょう。



自宅に倒壊の危険があるなど、生活するのに困難な状態になったら

### 地域防災拠点

小・中学校を震災時の避難場所として指定しており、ここで実際に避難生活を送ります。



震災によりけがをしたら

地域防災拠点の周辺で火災がおきていたら

### 広域避難場所

一定の広さがある空き地などで、数時間程度熱や煙から身を守るための場所です。



### 災害時地域定点診療拠点

被災負傷者(軽傷者)等への応急医療を行います。  
※地域防災拠点と併設しています。



● 地域防災拠点

□ 地域防災拠点該当区域 □ 町境

## OnePoint防災

### 豪雨災害から命を守るための行動

台風や豪雨によるがけ崩れからの避難は、各人自らの判断で行動することが原則です。避難勧告が出されていなくても「自らの命は自ら守る」という考えのもと、危険が迫る前に早めに避難を開始してください。

崖崩れを確実に見極める方法はありませんが、右図のような現象があった場合には、特に早めに避難行動を開始してください。

(近くの高台や安全な場所への避難、近隣の堅牢な建物の2階以上への避難、自宅の崖側の反対側の部屋への避難等の方法があります。)



### 避難のサイン (情報は早めに!!)

小石がパラパラ落下

斜面に湧水が発生

斜面に亀裂が発生

崖崩れの前兆現象



地域防災拠点(震災時避難場所)一覧

家屋が倒壊・焼失し戻れない場合は、地域防災拠点(避難場所)に避難してください。お住まいの地域の地域防災拠点を確認しましょう!

☒:災害時地域定診療拠点

番号	該当地域	学校名	学校所在地
1	奈良町の一部、奈良四丁目の一部、奈良五丁目、緑山	奈良小学校 ☒	奈良町 1541 - 2
2	奈良町の一部、奈良一丁目～三丁目、奈良四丁目の一部	奈良の丘小学校	奈良二丁目 29 - 1
3	すみよし台、奈良町の一部	奈良中学校	すみよし台 36 - 3
4	あかね台一丁目、二丁目、恩田町の一部	あかね台中学校	あかね台二丁目 8 - 2
5	恩田町の一部、田奈町	田奈小学校 ☒	田奈町 51 - 13
6	さつきが丘、しらとり台	さつきが丘小学校	さつきが丘 8
7	つつしが丘	つつしが丘小学校	つつしが丘 34
8	櫻が丘、松風台の一部	櫻が丘小学校	櫻が丘 29
9	桂台一丁目、松風台の一部	桂小学校	桂台一丁目 4
10	桂台二丁目、若草台の一部	恩田小学校	桂台二丁目 36
11	鴨志田町の一部、寺家町、成合町	鴨志田緑小学校 ☒	鴨志田町 532
12	鴨志田町の一部、たちばな台二丁目	鴨志田第一小学校	鴨志田町 805 - 6
13	鉄町、大場町の一部	鉄小学校	鉄町 427
14	桜台の一部、たちばな台一丁目	みたけ台小学校	みたけ台 18
15	上谷本町の一部、みたけ台	みたけ台中学校 ☒	みたけ台 30
16	桜台の一部、若草台の一部	青葉台小学校	桜台 47
17	青葉台一丁目、二丁目	青葉台中学校 ☒	青葉台二丁目 25 - 2
18	柿の木台、上谷本町の一部、もえぎ野	もえぎ野小学校	もえぎ野 16
19	藤が丘二丁目の一部	藤が丘小学校	藤が丘二丁目 30 - 3
20	梅が丘	谷本中学校 ☒	梅が丘 5
21	下谷本町、藤が丘一丁目	谷本小学校	藤が丘一丁目 55 - 10
22	千草台、藤が丘二丁目の一部	緑が丘中学校	千草台 50 - 1
23	市ケ尾町の一部	東市ケ尾小学校	市ケ尾町 519
24	荏田西一丁目～五丁目	荏田西小学校 ☒	荏田西四丁目 5 - 1
25	荏田町の一部	荏田小学校	都筑区荏田南町 694
26	市ケ尾町の一部、大場町の一部、荏田北一丁目～三丁目	市ケ尾小学校	市ケ尾町 1632 - 1

番号	該当地域	学校名	学校所在地
27	あざみ野三丁目、大場町の一部、あざみ野南二丁目～四丁目、みすずが丘	あざみ野第二小学校 ☒	あざみ野三丁目 29 - 3
28	あざみ野四丁目、元石川町の一部	あざみ野第一小学校	あざみ野四丁目 6 - 1
29	あざみ野一丁目、二丁目	あざみ野中学校 ☒	あざみ野一丁目 29 - 1
30	黒須田、大場町の一部	黒須田小学校	黒須田 34 - 1
31	すすき野一丁目、二丁目、すすき野三丁目の一部、もみの木台	嶮山小学校 ☒	すすき野一丁目 6 - 4
32	美しが丘西三丁目の一部、すすき野三丁目の一部	すすき野小学校	すすき野三丁目 4 - 1
33	荏子田一丁目～三丁目	荏子田小学校	荏子田三丁目 8 - 9
34	美しが丘四丁目・元石川町の一部	元石川小学校 ☒	美しが丘四丁目 31 - 1
35	美しが丘五丁目	山内中学校	美しが丘五丁目 4
36	あざみ野南一丁目、荏田町の一部、新石川一丁目、新石川二丁目の一部	山内小学校	新石川一丁目 20 - 1
37	新石川二丁目の一部、新石川三丁目、四丁目	新石川小学校	新石川三丁目 12 - 1
38	美しが丘一丁目の一部、美しが丘二丁目の一部	美しが丘東小学校	美しが丘二丁目 25
39	美しが丘一丁目の一部、美しが丘二丁目の一部	美しが丘小学校 ☒	美しが丘二丁目 29
40	美しが丘二丁目の一部、美しが丘三丁目	美しが丘中学校	美しが丘三丁目 41 - 1
41	美しが丘西一丁目、二丁目、美しが丘西三丁目の一部、元石川町の一部	美しが丘西小学校	美しが丘西二丁目 48 - 1
その他の予備的な避難場所		鴨志田中学校 もえぎ野中学校 市ケ尾中学校 すすき野中学校	鴨志田町 536 もえぎ野 4 - 1 市ケ尾町 531 - 1 すすき野三丁目 4 - 3

注 1) この表は、小・中学校の通学区域(学区)や選挙の投票区域(投票所)とは異なる場合があります。  
学区については戸籍課登録担当 ☎978-2231、選挙の投票所については総務課統計選挙係 ☎978-2205 へご確認ください。  
注 2) 小・中学校が新設された場合は、避難場所も変更になることがあります。

(2) 帰宅困難者一時滞在施設

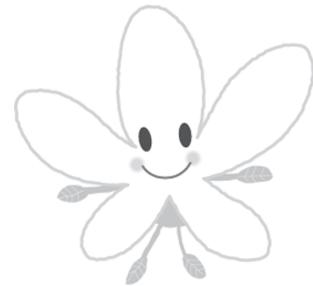
区民の皆様や観光・出張等で横浜を訪れる方々が、外出しているときに帰宅困難となった場合に備え、帰宅困難者一時滞在施設の指定を行っています。ただし、一時滞在施設に指定されていても、被災状況や受入状況によっては、施設に滞在できない事もあります。

駅名	施設名	所在地	駅からの距離	駅からの時間	最大収容人数
たまプラーザ駅	学校法人 國學院大學たまプラーザキャンパス	新石川三丁目 22-1	約 300m	徒歩 4分	100人
あざみ野駅 (東急・市営地下鉄)	山内地区センター	あざみ野二丁目 3-2	約 200m	徒歩 3分	300人
	アートフォーラムあざみ野	あざみ野南一丁目 17-3	約 400m	徒歩 5分	300人
江田駅	品川合同葬祭(株)シティホール江田	あざみ野南一丁目 2-6	約 200m	徒歩 3分	100人
市ケ尾駅	青葉公会堂	市ケ尾町 31-4	約 700m	徒歩 8分	1,000人
藤が丘駅	藤が丘地区センター	藤が丘一丁目 14-95	約 450m	徒歩 5分	400人
青葉台駅	大成祭典(株)セレモニーホール大成第2	青葉台二丁目 18-6	約 400m	徒歩 5分	100人
	青葉台フォーラム	青葉台 1-5-8	約 150m	徒歩 2分	50人
田奈駅	多摩田園都市まちづくり館	田奈町 76	約 50m	徒歩 1分	100人
こどもの国駅	こどもの国(園内施設)レストラン さんかくぼうし	奈良町 700	約 400m	徒歩 5分	200人

※資料:青葉区総務課

## 15 沿革

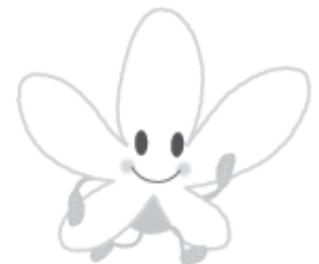
昭和	14年	4月	第6次市域拡張により、都筑郡の一部、田奈村、中里村、山内村の3村が横浜市に編入(当時港北区の一部に)
	39年	8月	東京沼津線(国道246号)開通
	40年	5月	こどもの国開園
	41年	4月	田園都市線(溝の口～長津田)開通
	42年	4月	こどもの国線開通
	43年	4月	東名高速道路(東京～厚木)開通
	44年	10月	緑区制施行(港北区から分区)
	47年	4月	青葉台に「青少年図書館」開館
	52年	4月	「山内地区センター・山内図書館」開館
		7月	山内支所誕生(出張所から支所に)
	57年	7月	「くろがね青少年野外活動センター」開設
	59年	4月	田園都市線(つきみ野～中央林間)開通
		12月	緑保健所北部出張所開設
	61年	11月	緑区役所北部支所開設(人口224,012人、79,755世帯でスタート)
	62年	11月	「寺家ふるさと村四季の家」開館
	63年	4月	緑北警察署開設(市ケ尾町)・(平成6年11月青葉警察署に名称変更)
平成	元年	5月	みたけ台に「児童野外活動センター(こどもの杜)」開設
		10月	あざみ野駅行政サービスコーナー開設
		11月	「藤が丘地区センター」開館、「国際交流ラウンジ」開設
		12月	緑税務署新庁舎完成(市ケ尾町)
	3年	7月	「市ケ尾彫刻のプロムナード」完成(翌年、建設省(現:国土交通省)「手づくり郷土賞」受賞)
	4年	3月	「若草台地区センター」開館
		4月	「水道局緑北営業所」開業
		6月	「障害者地域活動ホーム(えだ福祉ホーム)」開設 「荏田地域ケアプラザ」開設
		12月	「横浜市港北区及び緑区の再編成に関する条例」の制定(新しい4区の区域の確定)
	5年	3月	横浜市営地下鉄、あざみ野駅まで延伸
		4月	「区民文化センター(フィリアホール)」開館(青葉台) 「こどもログハウス(ロケットハウス)」開設(美しが丘)
	6年	11月	青葉区制施行、人口245,587人、94,198世帯でスタート 青葉消防署、新庁舎にて業務開始 「美しが丘西地区センター」開館
	7年	3月	青葉土木事務所現庁舎に移転、業務開始
		4月	青葉区総合庁舎落成 「青葉公会堂」、「青葉スポーツセンター」開館



## 15 沿革



平成	8年	5月	青葉区役所旧庁舎、ボランティア活動拠点として再利用	
	9年	10月	青葉区子ども・家庭支援センターが保健所に開設	
		12月	「老人福祉センター ユートピア青葉」、「もえぎ野地域ケアプラザ」開設	
	10年	3月	東名高速道路、「横浜青葉インターチェンジ」開通	
		9月	「奈良地域ケアプラザ」開設	
	11年	5月	「青葉台コミュニティハウス」開設	
		7月	「横浜地方法務局青葉出張所」開設(川和出張所から移転)	
		12月	「さつきが丘地域ケアプラザ」開設	
	12年	3月	「横浜青葉スポーツ広場」開設 こどもの国線通勤線化 同時に恩田駅開業	
		4月	「奈良地区センター」開館	
		13年	2月	「大場みすずが丘地区センター」開館
	13年	11月	「美しが丘地域ケアプラザ」開設 資源循環局青葉事務所開設	
		14年	1月	「大場地域ケアセンター」開設
			7月	「青葉の風」(中途障がい者地域活動センター)開設
	16年	1月	「鴨志田地域ケアプラザ」開設	
		11月	青葉区制10周年	
	17年	3月	青葉区区民交流センター「田奈ステーション」開設	
		4月	青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」開設	
		10月	「アートフォーラムあざみ野」開館	
	19年	4月	「横浜市立黒須田小学校」開校	
		5月	人口30万人に到達 「まちのルールづくり相談センター」開設	
		6月	「みたけ台コミュニティハウス」開設	
	20年	11月	「ビオラ市が尾地域ケアプラザ」開設	
	21年	4月	青葉区マスコット制定・谷本公園一部開園	
		11月	青葉区制15周年	
	22年	1月	「区内にキャンパスを有する6つの大学との連携・協力に関する協定」の締結	
	23年	3月	「あおば地域活動ホームすてっぷ・青葉台地域ケアプラザ」開設	
		4月	「横浜市立あかね台中学校」開校	
		7月	「青葉台消防出張所」開所	
		8月	青葉区地域子育て支援拠点「ラフル」開設	
		12月	「奈良消防出張所」開所	
	24年	1月	「恩田地域ケアプラザ」開設	
25年	3月	「たまプラザ地域ケアプラザ」開設		
	4月	「横浜市立美しが丘西小学校」開校		
26年	11月	青葉区制20周年		
	12月	「青葉スポーツプラザ」開設		





## これであなたも青葉区マスター

### ○横浜市統計ポータルサイト

横浜市のデータや、より詳しい青葉区のデータを調べたい時にご利用ください♪

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>

### ○青葉区のホームページ

区役所の利用方法からイベント情報まで  
青葉区内の様々な情報がつまっています！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/>

### ○広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」

青葉区大好きなリポーターが、青葉区の「ステキな人やモノ」をお伝えします。

ケーブルテレビ イッツコムチャンネル11ch/J:COMチャンネル11ch

青葉区のホームページからご覧いただけます。



### ○ラジオで青葉区の情報を聴こう！FMサルース（84.1MHz）

区役所からのお知らせや防災情報など、知っていれば必ず役に立つ青葉区の耳よりな情報をお伝えしています！青葉区ホームページからもお聴きいただけます♪

### ○青葉区犯罪発生情報メール

区内で発生した犯罪に関する情報をメールで配信します。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/OOlife/14bohan/mail.html>

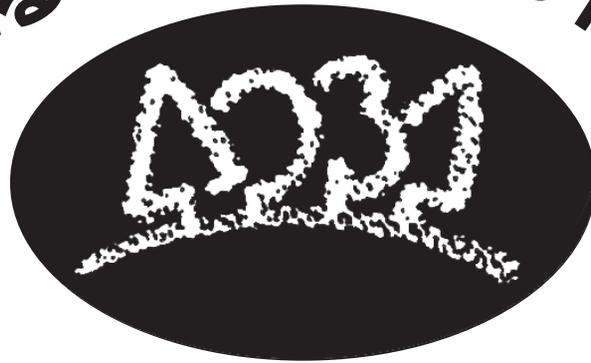
### ○ツイッター（Twitter）

区役所からツイッター（Twitter）による情報を発信中。身近な情報をはじめ、防災関連情報、緊急情報などいろいろな情報をお知らせしています。

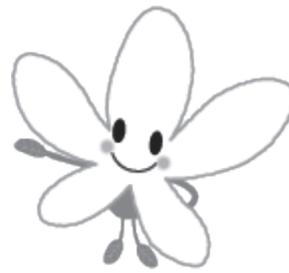
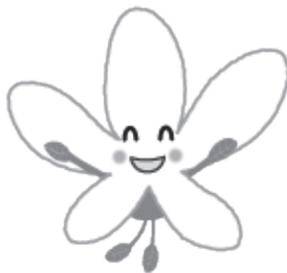
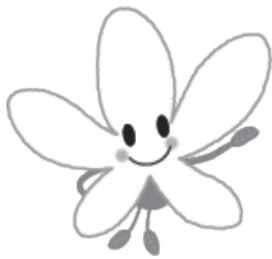
[http://twitter.com/yokohama\\_aobaku](http://twitter.com/yokohama_aobaku)



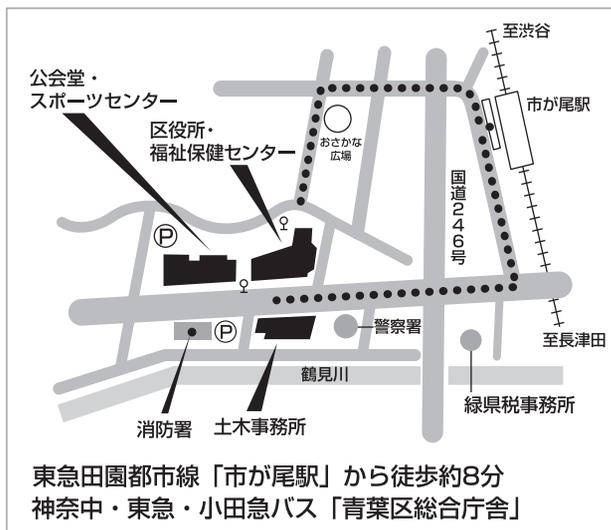
# なるほどあおば2015



## 横浜市青葉区役所



### 区役所案内図



なるほどあおば2015  
～データで見る青葉区～

発行：平成27年7月

編集：青葉区役所総務課

発行者：青葉区役所総務課

〒225-0024

横浜市青葉区市ケ尾町31-4

印刷：吾妻印刷株式会社